

Odds Park Club

vol.35

2014.10~12

岩手競馬 JBC特集

ジョッキーインタビュー
山本聡哉 騎手

Graded Dirt Races

- 10/ 1 東京盃 JpnⅡ (大井)
- 10/ 2 レディスプレリュード JpnⅡ (大井)
- 10/ 7 白山大賞典 JpnⅢ (金沢)
- 10/13 マイルチャンピオンシップ南部杯 JpnⅠ (盛岡)
- 10/16 エーデルワイス賞 JpnⅢ (門別)
- 11/ 3 JBCレディスクラシック JpnⅠ (盛岡)
- 11/ 3 JBCスプリント JpnⅠ (盛岡)
- 11/ 3 JBCクラシック JpnⅠ (盛岡)
- 11/ 6 北海道2歳優駿 JpnⅢ (門別)
- 11/19 浦和記念 JpnⅡ (浦和)
- 11/26 兵庫ジュニアグランプリ JpnⅡ (園田)
- 12/ 3 クイーン賞 JpnⅢ (船橋)
- 12/17 全日本2歳優駿 JpnⅠ (川崎)
- 12/23 名古屋グランプリ JpnⅡ (名古屋)
- 12/24 兵庫ゴールドトロフィー JpnⅢ (園田)
- 12/29 東京大賞典 GI (大井)

地方競馬応援隊 盛岡競馬場

馬場マニア的JBCの楽しみ

私の手帳の11月3日の欄は数字を赤丸で囲んであります。なぜなら…。そうです！『第14回JBC競走』が盛岡競馬場で行われるからです！盛岡で初めてJBC競走が行われたのは第2回の2002年ですから、実に12年ぶり。地元ファンの皆さんも待ちに待った開催でしょう。

私が初めて盛岡を訪ねたのは今から約10年前。プライベートの旅行でした。盛岡競馬場に詳しい友人から「盛岡駅から無料バスが出ているから、それを利用した方がいいよ。途中で山道を通って、所要時間は30分くらい」とのアドバイスを受け、駅からバスに乗り込み、確かに山を登っていきました。これが結構な山道で、クネクネと左右に木々が生い茂る狭い坂道を進んでいくのです。さすがに、この先に本当に競馬場があるのかしらと不安になり始めた頃、急に視界が広がり、大きなスタンドが目に見え込んできました。盛岡競馬場は1996年に現在の場所に移転新設されまし



たが、山の上にこんなに立派なスタンドがあるのかと驚くほどに綺麗で、4階建てのお洒落なデザインの建物に、私のテンションが上がりまくったのは言うまでもありません。

盛岡競馬場のダートコースは1周1600mで、大井、門別競馬場と並ぶ地方競馬最大級のコース。向正面には山並みを一望する事が出来て、自然を感じながらのレース観戦は都心の競馬場とはまた違った空気の中で競馬を楽しむ事ができました。

私は普段“馬場マニア”として全国各地の競馬場の馬場を調べたり、歩いたりする事をライフワークとしているので、マニアック情報もお伝えしておきましょう。地方の競馬場は各場によってダートの砂厚が異なりますが、盛岡競馬場では12cmとなっており、14ある地方競馬場の中ではかなり厚めでタフなコンディションとなっています。また盛岡には地方で唯一、芝コースがありますよね。その芝はケンタッキーブル

ーグラス、トールフェスク、ペレニアルライグラスの3種混合の洋芝が使用されています。この3種はJRAの函館や札幌競馬場と同じですから、洋芝に実績のある種牡馬の子供やパワータイプの馬を狙うのもいいかもしれません。実際に盛岡に行ったら、芝のレースが組まれていたら、参考にして下さいね。

最後に食に関する情報を。盛岡競馬場に行ったら是非、『名物・ジャンボ焼き鳥』を食べる事をオススメします。ジューシーで食べ応え満点のボリュームですよ。そして帰りは盛岡市内の焼肉店などで、冷麺を食べましょう。私が好きなのは『びんぽん舎』ですが、他にも色々お店がありますから、お好みの所を探して行ってみるのもいいですね。

盛岡で行われるJBC。どんな熱戦が繰り広げられるのか、今からワクワクしています。是非、皆さんと一緒に楽しみましょう！



小島友実
(こじまともみ)

競馬キャスター&ライター。
ラジオNIKKEI『中央競馬実況中継』、グリーンチャンネル『トラックマンTV』に出演。週刊競馬ブックにて連載中。ライフワークは馬場取材で“日本一馬場を歩くキャスター”を目指している。

注目重賞 ピックアップ

第46回 不來方賞

11月3日(祝・月) 3歳 盛岡ダート2000m

2002年以来、12年ぶりに盛岡競馬場で行われるJBC競走。その当日に行われる岩手3歳三冠の二冠目。現在の三冠体系となった過去4回では、10年にロックハンドスターが一冠目・岩手ダービーダイヤモンドカップ、このレース、そして地方全国交流の三冠目・ダービーグランプリ(水沢2000m)のすべてを制し三冠に輝いた。しかし、その後の近3年では、二冠馬は2頭いるが、一冠目、二冠目ともに勝った馬は出ていない。過去4回の3着以内馬12頭のうち7頭が一冠目には不出走(JRAや他地区からの移籍馬を含む)で、昨年は、岩手ダービーでは6着だったコウギョウデジタルが勝利。ダービーと同じ盛岡2000mでの争いだが、ひと夏を越しての勢力図の変化を読み取る必要がありそうだ。

第57回 道営記念

11月13日(木) 3歳以上 門別2000m

ホッカイドウ競馬の重賞としては、ダートグレードを除き最高額となる1着賞金1000万円をかけて争われる古馬中長距離のナンバー1決定戦。近年、活躍が目立っているのが、その年の6月以降にJRAからの転入初戦を迎えた馬たち。過去5回では、12年モエレビクトリー、10年オネストジョン、09年コパノカチドキと3頭が勝利し、2着3回、3着1回の好成績。それ以外の2回では、13年レオニダス、11年ショウリダバンザイと地元北海道デビュー馬が勝利(2着1回、3着3回)しており、馬券に絡むのは、ほぼどちらかのタイプに限られる。なお過去5回中4回で、瑞穂賞の連対馬がここでも1頭以上連対していた。



2013年道営記念 レオニダス

第57回 園田金盃

12月4日(木) 3歳以上 園田1870m



2013年園田金盃 オオエライジン

12年からはファン投票と記者選抜により出走馬が選出されている兵庫競馬のグランプリレース。12、13年ともファン投票1位がオオエライジン、2位がホクセツサンデーで、昨年はこの2頭によるワンツー決着。2400mで実施されていた08年以前では、5歳以下の若い世代の活躍(04～08年・2勝、2着4回、3着3回)が目立っていたが、距離短縮となった近5回でもその傾向は変わらず。5歳以下が、ホクセツサンデー(3歳)、ニシノイーグル(4歳)、オオエライジン(5歳)と3勝を挙げ、2、3着も3回ずつと好成績を収めている。出走数こそ少ないものの、3歳でも兵庫ダービーか菊花賞で連対実績があれば通用する。

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●西謙一騎手、飛躍の年

8月10日、ばんえい十勝では、ばんえいグランプリが行われた。ファンの人気投票で選出された上位7頭に、番組賞金順での上位3頭を加えたメンバーにより争われる真夏の夜の祭典。この大一番を制したのは、6歳の牡馬フジダイビクトリーだった。先行集団を進み、第2障害を1番手でまとめると、中団から追い上げてきた2着キタノタイショウを突き放し、逃げ切り勝ちを決めた。春の旭川記念以来の重賞制覇である。

フジダイビクトリーは、昨季終盤から皆川公二厩舎へ移動した転厩馬である。



7月13日 北斗賞 ニュータカラコマ

今までの養い方、運動量、当然騎手の変更も大きく影響する。新しくコンビを組んだのが、8月15日現在、ばんえいリーディング1位の西謙一騎手である。平成元年12月、帯広競馬場で行われた農林水産大臣賞典。「昭和から平成に変わった年に、イエヤスが天下をとった」、「西弘美騎手イエヤスで天下取り」。スタートからゴールまでが5分32秒2という、同レース史上に残る名勝負を演じ、また芦毛の名馬フクイチで2回と、農林水産大臣賞典（ばんえい記念）で3勝を挙げた西弘美騎手（現調教師）の長男である。「親父から教わったのは、『朝早く起きて』、『馬を追う時には、大きな声を出せ』が一番かな」と語る西謙一騎手だが、世



8月10日 ばんえいグランプリ フジダイビクトリー
間では後継ぎで悩む親が多い中、ばんえい界では二世騎手が多い。当時は短い夏休み中、単身赴任の父がいる厩舎生活で、色鮮やかな騎手服で馬群を割って、1着でゴールに飛び込む、父親弘美騎手の勇姿は、謙一少年には大きく見えたことだろう。

文●小寺雄司

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2014年6月～2014年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/15	旭川記念(3歳以上)	200	フジダイビクトリー(牡6)	西 謙一	ばんえい・皆川公二
6/22	柏林賞(4歳)	200	ダイコクパワー(牡4)	大口泰史	ばんえい・松井浩文
7/13	北斗賞(3歳以上)	200	ニュータカラコマ(牡6)	藤野俊一	ばんえい・村上慎一
7/27	はまなす賞(3歳・4歳)	200	コウシュハウンカイ(牡4)	藤本 匠	ばんえい・大友栄人
8/10	ばんえいグランプリ(3歳以上)	200	フジダイビクトリー(牡6)	西 謙一	ばんえい・皆川公二
8/24	ばんえい大賞典(3歳)	200	カイシンゲキ(牡3)	菊池一樹	ばんえい・梶舘重人

ホッカイドウ競馬

場番号 門別 06#

●ハッピーズプリントに続くのは?

今シーズンも残り2カ月を切った'14ホッカイドウ競馬。昨年ハッピーズプリントが全日本2歳優駿JpnIを制し、2歳馬では史上2頭目のNARグランプリ年度代表馬に輝いたことで、例年以上の注目を集めている「強い2歳馬」たちの戦いも、いよいよ佳境に向かっていく。10月16日には牝馬2歳女王決定戦・エーデルワイス賞JpnIIIが、翌週21日は今年から重賞(H2)に格上げされた“北の2歳スプリント王決定戦”未来優駿2014・サッポロクラシックカップがゲートイン。さらに11月6日には、ホッカイドウ2歳三冠競走のラスト決戦・北海道



8月26日 プリーダースゴールドジュニアカップ オヤコダカ

2歳優駿JpnIIIが行われ、昨年のハッピーズプリントに続くスター誕生が期待されている。

今季は、開幕から長く「群雄割拠」の状況が続いてきた2歳戦線だが、8月26日の三冠第2戦・プリーダースゴールドジュニアカップを先行策から完勝したオヤコダカ(牡・父サムライハート)が一歩抜け出した感が強い。道中一度も流れが緩まないなか2番手を追走し、3コーナーで早くも後続各馬にムチが入るような厳しい流れも涼しい顔でポジションキープ。直線入口で満を持して先頭に躍り出ると、330メートルの長い直線も後続

に影すら踏ませず最後は流して圧勝してみせた。その走破内容、時計は北海道2歳優駿でも勝ち負けできるレベルとみてよく、秋から暮れの2歳交流重賞戦線の主役に躍り出る可能性が高そうだ。同レース1番人気に推されながら、内枠からの発馬で大敗したエンターザスフィア(牡・父ヴァーミリアン)は外枠から流れに乗れば巻き返し可能な潜在能力。牝馬戦線はフルールカップ(H3)勝ち馬コパノハート(父コパノフウジン)に、執筆時点でデビュー2連勝のジュモット(父ファスリエフ)、栄冠賞4着で同3戦2勝のルージュロワイヤル(父フレンチデピュティ)に注目だ。

文●ひだか応援隊

●ホッカイドウ競馬重賞勝ち馬一覧 2014年6月～2014年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/3	北海道優駿(ダービー)(3歳)	2000	ヤマノミラクル(牡3)	井上俊彦	北海道・松本隆宏
6/12	北海道スプリントカップJpnIII(3歳以上)	1200	アドマイヤサガス(牡6)	川田将雅	JRA・橋田 満
7/1	栄冠賞(2歳)	1200	ティーズアライズ(牝2)	松井伸也	北海道・小野 望
7/15	ノースクイーンカップ(3歳以上牝)	1800	ココロバ(牝6)	阪野 学	北海道・田中淳司
7/31	赤レンガ記念(3歳以上)	1800	トミケンヒーロー(牡6)	阪野 学	北海道・原 孝明
8/14	プリーダースゴールドカップJpnIII(3歳以上牝)	2000	サンビスタ(牝5)	岩田康誠	JRA・角居勝彦
8/14	フルールカップ(2歳牝)	1000	コパノハート(牝2)	岩橋勇二	北海道・田中淳司
8/21	王冠賞(3歳)	2600	スタンドアウト(牡3)	阿部 龍	北海道・角川秀樹
8/26	プリーダースゴールドジュニアカップ(2歳)	1800	オヤコダカ(牡2)	阪野 学	北海道・原 孝明

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

写真●岩手県競馬組合

●ナムラタイタンはJBC目標に

気になるのはマーキュリーカップJpnⅢを回避したナムラタイタンの動向。「夏負け気味」ということだったが、攻め馬を休んだのは一週間少々。交流競走でなければ使えないこともなかったのではないと思われるが、メンバーが違う上に結果が期待される立場であれば、この判断は当然。9月の青藍賞を叩いて、10月13日のマイルチャンピオンシップ南部杯JpnI、そして、11月3日のJBCが目標になる。

●生え抜き馬も奮闘、せきれい賞

レベルアップしたのは古馬の芝路線。8月のせきれい賞は大井所属で元JRAオープン馬のカリバーンが優勝したが、地元勢も食い下がった。2着のミカエルビステイはJRA1600万級からの転入でこれも注目馬だったが、7勝すべてが盛岡の芝コースという岩手生え抜きのオールマイウェイ（3着）も争いに加わったことは特筆事項だろう。10月の芝は1000メートル路線となるが、スペシャリストの層も厚くなっており、興味深い路線となることは間違いない。

●活躍馬の兄に続くかキモンイグル

2歳路線は若駒賞勝ちのキモンイグルがJRAの福島戦を視野にローテーションを模索中。昨年度岩手3歳最優秀馬、最優秀ターフホースとなったハカタドンタクの妹であり、同様にコースを問わない活躍が期待される。

文●深田桂一（ケイシュウニュース）



8月16日 若駒賞 キモンイグル

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2014年6月～2014年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/1	サファイア賞(3歳)	盛岡芝2400	ムードロップ(牡3)	菅原俊吏	岩手・伊藤 和
6/2	岩手ダービーダイヤモンドカップ(3歳)	盛岡2000	ライズライン(牡3)	村上 忍	岩手・千葉幸喜
6/7	かぎつばた賞(OP)	盛岡芝2400	オールマイウェイ(牡4)	村上 忍	岩手・村上 実
6/8	早池峰賞(OP)	盛岡1200	ランドオウジ(牡8)	村上 忍	岩手・千葉幸喜
6/22	一條記念みちのく大賞典(OP)	水沢2000	ナムラタイタン(牡8)	坂口裕一	岩手・村上昌幸
6/29	ウイナーカップ(3歳)	水沢1400	ジャイアントスター(牡3)	村上 忍	岩手・瀬戸幸一
7/6	岩鷲賞(OP)	水沢1400	マイネルパルピゾン(牡5)	高松 亮	岩手・板垣吉則
7/12	ハヤテスプリント(3歳)	盛岡1000	ジャリヴ(牡3)	高松 亮	岩手・佐藤雅彦
7/13	オパールカップ(3歳)	盛岡芝1700	ライズライン(牡3)	村上 忍	岩手・千葉幸喜
7/20	フェアリーカップ(OP牝)	盛岡1800	コウギョウデジタル(牝4)	山本聡哉	岩手・菅原右吉
7/21	マーキュリーカップJpnⅢ(3歳以上)	盛岡2000	ナイスミチュー(牡7)	小牧 太	JRA・橋口弘次郎
7/27	ひまわり賞(オークス)(3歳牝)	盛岡2000	フラッシュモブ(牝3)	山本政聡	岩手・関本浩司
8/2	すずらん賞(OP)	盛岡1600	ランドオウジ(牡8)	村上 忍	岩手・千葉幸喜
8/3	せきれい賞(OP)	盛岡芝2400	カリバーン(センフ)	吉原寛人	大井・藤田輝信
8/13	クラスターカップJpnⅢ(3歳以上)	盛岡1200	サマリーズ(牝4)	藤岡佑介	JRA・藤岡健一
8/16	若駒賞(2歳)	盛岡芝1600	キモンイグル(牝2)	高松 亮	岩手・板垣吉則
8/17	桂樹杯(OP)	盛岡芝1600	ドリームフォワード(牡7)	高松 亮	岩手・千葉幸喜

金沢競馬

場番号 41#

写真●石川県競馬事業局

●鈴木師との出会い、ダービー制覇

ケージキンカメが金沢所属馬で初めて東海ダービーを制したのは、うれしいニュースだった。名古屋の大將格リーダーズボードが不在でメンバー的に恵まれたという声もあったが、2番手から3コーナー過ぎで逃げた馬を楽に交わし、4コーナーを先頭で回って直線独走状態のパフォーマンスは圧巻だった。

ケージキンカメは鈴木正也調教師に見初められて金沢にやってきた。「たまたま訪れた牧場に休養で上がっていて、背中が柔らかくていいなあと思った。聞くと中央で苦戦しているみたいだったので、金沢で走らせてみたいと馬主さんに

相談した」と振り返る。鈴木師は以前、中央未出走ながら名古屋の東海クイーンカップや金沢のサラブレッド大賞典を制し、南関東の牝馬重賞路線で活躍したチヨノドラゴンを探し出した経験があった。

金沢にきたケージキンカメは転入初戦からスピードの違いを見せ付ける。2着に5馬身差を付ける圧勝劇で初勝利を挙げると、6連勝であつという間に東海ダービーまで勝ってしまった。大井のジャパンダートダービーJpnIではさすがに自分のレースをさせてもらえず11着だったが、ゲートが開くと先行するかと思わせるダッシュ力は見せていた。

●古馬の壁、秋は3歳重賞路線へ

それだけに地元に戻ってのMRO金賞とイヌワシ賞はともに僅差の2着に競り負けてしまい悔しい結果だった。いずれも単勝1番人気に推されて期待度が高いのは分かるが、イヌワシ賞で最後まで抜かせなかったセイカアレグロとの差は、これまで踏んできた場数の違いに見えた。鈴木師も「古馬とやり合うにはまだ経験不足。自信をなくさないようにするために3歳で走れるレースを使っていきたい」（鈴木師）と、今後は地元のサラブレッド大賞典から笠松の岐阜金賞へ向かい、最終的な目標は水沢のダービーグランプリに定めている。

文●瀬川剛司（中日スポーツ）



8月26日 イヌワシ賞 セイカアレグロ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2014年6月～2014年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/15	百万石賞(3歳以上)	2300	ナムラダイキチ(牡6)	畑中信司	金沢・藤木一男
7/1	読売レディース杯(3歳以上牝)	1500	エーシンサルサ(牝4)	木村 健	兵庫・橋本忠男
7/15	金沢スプリントカップ(3歳以上)	1400	セイカアレグロ(牡9)	吉田晃浩	金沢・佐藤 茂
8/5	MRO金賞(3歳)	1700	トーコーポセイドン(牡3)	大山真吾	兵庫・吉行龍穂
8/26	イヌワシ賞(3歳以上)	2000	セイカアレグロ(牡9)	吉田晃浩	金沢・佐藤 茂
8/31	加賀友禅賞(3歳牝)	1300	エトワールドロゼ(牝3)	田知弘久	金沢・金田一昌

写真●岐阜県地方競馬組合

笠松競馬



場番号 42#

●主役は牝馬！

交流重賞の連敗はいったい誰が止めるのか。これが笠松馬にとっての至上命題だった。この難題に回答してくれたのがリックタラキチ。3歳牝馬の重賞・クイーンカップで金沢馬2頭、そして兵庫のプレシャスベガ、ユノエスケープの追撃を封じ、昨年10月の岐阜金賞から始まり、笠松グランプリ、プリンセス特別、白銀争覇、ゴールドジュニア、オッズパークグランプリ、オグリキャップ記念と続いた地区交流重賞の連敗を「7」でストップさせた。同時に、笠松3歳ナンバー1の座を確固たるものにしたといってい



6月19日 クイーンカップ リックタラキチ

笠松に夏の訪れを告げるサマーカップは、名古屋のクリスタルボーイが2番手から抜け出し快勝。黒船賞JpnⅢ、かきつばた記念JpnⅢで掲示板はダテでないことを証明した。同レースの注目は前出・リックタラキチが古馬相手に通用するのかという点にもあったが、1馬身半差の2着。そういう顔ぶれではあったが、それにしてもという内容。今後の楽しみが広がった。

笠松のお盆といえばくろゆり賞。重賞連勝をもくろむクリスタルボーイの前に立ちどかしたのがタッチデュール。金沢スプリントカップであわやの2着、兵庫サマークイーン賞でも3着に食い込み、前走・コスモス賞では牝馬戦で格下相手とはいえ楽勝。穴に挙げる記者も多かった。が、それにしても鮮やかな勝ちっぷり。昨年11月・兵庫クイーンカッ



8月15日 くろゆり賞 タッチデュール

プでは2年ぶりの重賞制覇で話題を振りまいたが、それ以来となる4つ目の勲章を手に入れた。僚馬トウホクビジンのタフさはご存じの通りだが、この馬も先輩に負けじと頑張っている。笹野博司厩舎の女傑2頭の旅はこれからも続きそう。また、このレースでもリックタラキチは3着に奮闘。秋への期待がさらに高まったのは言うまでもない。

文●幸村博之(競馬エース)

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2014年6月～2014年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/19	クイーンカップ(3歳牝)	1600	リックタラキチ(牝3)	吉井友彦	笠松・森山英雄
7/3	サマーカップ(3歳以上)	1400	クリスタルボーイ(牡7)	戸部尚実	名古屋・川西 毅
8/15	くろゆり賞(3歳以上)	1600	タッチデュール(牝5)	佐藤友則	笠松・笹野博司

名古屋競馬

場番号 43#

●川西厩舎勢に熱視線

今年の東海ダービーは、誰もが認める地区ナンバー1・リーダーズボードと金沢で覚醒したケージーキンカメの一騎打ちに沸く予定だった。が、脚部不安によりリーダーズボードが直前で回避。2番手争いを繰り広げていたノゾミダイヤ、ドクターナイヴ、トーホウボンバー、ピースフルリパティらの抵抗むなく、金沢の大將が6馬身差の圧勝。初めて他地区にタイトルが持ち出されることとなった。言うまいと思いつつ「もし出ていたら」とつい考えてしまうのだが、川西毅師は決してそんなことは口にしない。「出走に向けぎりぎりまで努力したんで



6月6日 東海ダービー ケージーキンカメ

すが……。残念ですが、先のある馬ですからね。この後にもいろいろ控えていますので」とすでに気持ちは前を向いていた。復帰時期は未定だが、憎らしいほど強い姿がまた見られるのを待ちたいと思う。

絶対女王・ラブミーチャンの引退で空いた王座にわれもわれもと群がるかと思いきや、参考競走として同距離800メートルで行われる予定だったエメラルドオープンが頭数割れで不成立。今年の名古屋で馬スプリントはいろいろな意味で注目を集めたが、前哨戦が使えなかったのもなんの、ワールドエンドが人気に応えて逃げ切り、新王者の座についた。北海道スプリントカップJpnⅢで見せ場を作ったサイモンロードが復活を懸けて臨んだが、好スタートを切ることができず3着に終わった。

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2014年6月～2014年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/6	東海ダービー(3歳)	1900	ケージーキンカメ(牡3)	青柳正義	金沢・鈴木正也
6/27	名古屋で馬スプリント(3歳以上)	800	ワールドエンド(牡5)	岡部 誠	名古屋・川西 毅
7/21	名港盃(3歳以上)	1900	ピッチシフター(牝4)	大畑雅章	名古屋・川西 毅

写真●愛知県競馬組合



7月21日 名港盃 ピッチシフター

本格的な夏の到来を告げる名物レース・名港盃は、距離延長もなんの、ピッチシフターが並み居る牡馬を一蹴。川西厩舎は前記した言葉をまさに体現してみた。同馬はその後、佐賀のサマーチャンピオンJpnⅢに遠征し2着に激走。秋の最大目標はJBC。スプリントかレディスクラシックかはまたじっくり考えるというが、昨年の5着以上を期待するのは当然だろう。

文●幸村博之(競馬エース)

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

写真●兵庫県競馬組合

●重賞連勝エーシンサルサ

木村健騎手が右手を高々と挙げて、スタンドを振り返ってガッツポーズ。「これを1度、やりたかった」。7月25日に行われたGRANDAME-JAPAN (GDJ) 古馬シーズン第4戦・兵庫サマークイーン賞でエーシンサルサがゴールインした瞬間だ。デビュー勝ちをしたが、スタートの悪さで出世が遅れていた。それが今年4月にA1を逃げ切ってから、このレースまで5連勝。「スタートが決まっている」(木村騎手)。内からスマイルヴィジットが突っ張ってきたために2番手で折り合った。4コーナー手前、馬なりで



7月25日 兵庫サマークイーン賞 エーシンサルサ

先頭に立つと、直線では2番手以下を引き離し、2着の船橋・アスカリブルに7馬身差をつけた。続く、お盆シリーズにナイターで行われた地元の摂津盃では牝馬ながら57キロのハンデ頭で逃げ切り、金沢・読売レディス杯、兵庫サマークイーン賞から重賞3連勝を果たした。

●“トーコー軍団”の活躍

GDJ3歳シーズンで総合優勝したトーコーニケなど3歳馬は、トーコーガイア、トーコーボセイドンと“トーコー軍団”が活躍した。大将格ガイアは兵庫ダービーで待望の地元重賞を制した。また、ボセイドンは8月5日の金沢・MRO金賞を逃げ切って、重賞3勝目をマークしている。

●オオエライジン無念

一方で、オオエライジンが大井・帝王



6月5日 兵庫ダービー トーコーガイア

賞JpnIのレース中に故障し安楽死処分という悲しいニュースがあり、園田のファンに衝撃が走った。デビューから10連勝し、ダートグレードでの優勝こそなかったが、大井・黒潮盃、川崎・報知オールスターカップなど重賞を10勝した。園田、大井両競馬場にはオオエライジンの献花台が設置され、多くのファンが惜しみ、偲んだ。

文●池永博省 (大阪日刊スポーツ)

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2014年6月～2014年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/5	兵庫ダービー(3歳)	園田1870	トーコーガイア(牡3)	木村 健	兵庫・吉行龍穂
6/19	園田FCスプリント(3歳以上)	園田820	エスワンプリンス(牡5)	鮫島克也	佐賀・手島勝利
7/25	兵庫サマークイーン賞(3歳以上牝)	園田1700	エーシンサルサ(牝4)	木村 健	兵庫・橋本忠男
8/15	摂津盃(3歳以上)	園田1700	エーシンサルサ(牝4)	木村 健	兵庫・橋本忠男

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●ファイアフロート躍進の季節！

7月20日の第11回トレノ賞はファイアフロートが貫禄を見せつけた。天敵エプソムアローンは不在だったが、前走の園田FCスプリントで先着を許したディープハントを筆頭に強力馬が揃った一戦。それでも課題のスタートを決めてハナに立ち、追ってくる後続を封じた内容はさすがだった。この一戦での収穫は、力の必要な馬場を克服できた点。スピード決着を得意とし、実際、鞍上の赤岡修次騎手も「手応え自体は良くなかった」とレース後にコメントしていた。それでも勝利するあたりが他馬との絶対能力の違いなのだろう。続く8月24日の第37



8月24日 建依別賞 ファイアフロート

回建依別賞は好位抜け出しの磐石の競馬。トレノ賞当時よりも時計の出る馬場になれば怖いものなしだった。距離が延びていいタイプではないが、得意のカテゴリなら今後も活躍が期待できる。

●3歳戦は2強ムードに！

6月15日の第42回高知優駿は、黒潮皐月賞に続きニシケンメイピンが制した。黒潮皐月賞は展開がハマった面もあったが、高知優駿では好位抜け出しの堂々の競馬。他地区で重賞を勝っているクロスオーバー、オールラウンドはともに不参加だったとはいえ、春の主役を務めた。ニシケンメイピンはその後、牝馬限定の準重賞を制覇し、続くトレノ賞でも4着と善戦。この世代のレベルの高さを証明している。しかし次走の3歳限定の準重賞・梅檀特別ではニシノマリナー



6月15日 高知優駿 ニシケンメイピン

に競り負け。2歳王者であり、高知優駿でもアタマ差と苦しめられた馬だが、久々に後塵を拝す結果となった。3歳三冠の最終戦・黒潮菊花賞は10月13日。ニシケンメイピンの三冠達成か、それともニシノマリナーが阻止するのか。クロスオーバーやオールラウンドの動向と併せ、注目の一戦になりそうだ。

文●風間恒一 (中島競馬号)

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2014年6月～2014年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/15	黒潮ダービー高知優駿(3歳)	1900	ニシケンメイピン(牝3)	中西達也	高知・大関吉明
7/20	トレノ賞(3歳以上)	1300	ファイアフロート(牡8)	赤岡修次	高知・松木啓助
8/24	建依別賞(3歳以上)	1400	ファイアフロート(牡8)	赤岡修次	高知・松木啓助

佐賀競馬



場番号 61#

●田中純騎手、S1重賞2勝の活躍

九州ダービー栄城賞は00年の地区交流化後も佐賀所属馬が勝ち続けていたが、今年は初めて他場所所属の高知・オールラウンドに優勝をさらわれることとなった。同馬の鞍上に起用された田中純騎手は、これが佐賀移籍後初のS1重賞勝利。「次は佐賀の馬で勝ちたいですね」と語っていたが、吉野ヶ里記念をレース当日の乗替りとなったスイングエンジンで勝利し、その言葉を早くも達成した。田中純騎手は今年は佐賀リーディング4位、S1重賞2勝と躍進中だ。サマーチャンピオンJpnⅢでは引き続きスイングエンジンとコンビを組み、9着敗退と厳



7月13日 吉野ヶ里記念 スイングエンジン

しい結果に終わってしまったが、秋以降のさらなる活躍に期待が持てそうだ。

●サウスパシフィック台頭

これまで活躍してきたデュナメスやレイズミーアップがこの春に引退し、入れ替わるような形でサウスパシフィックが4月の佐賀転入初戦から4連勝と台頭してきた。吉野ヶ里記念は2着に敗れたものの、秋の中長距離重賞では主役となり

そうだ。

●エスワンは笠松GP連覇目指す

エスワンプリンスはスプリント交流路線へ進み、園田FCスプリントで地方交流重賞2勝目を達成した。習志野きらっとスプリント7着のあと夏場は休養に充て、秋の目標は笠松グランプリ（11月27日）とのこと。連覇を期待したいところだ。

文●上妻輝行

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2014年6月～2014年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/1	九州ダービー栄城賞(3歳)	2000	オールラウンド(牡3)	田中 純	高知・別府真司
6/14	水無月賞(3歳以上)	1400	コスモガラサ(牡5)	鮫島克也	佐賀・大島静夫
6/21	夏至賞(3歳)	1400	テッド(セン3)	竹吉 徹	佐賀・山田義人
6/28	遠賀川賞(3歳以上)	1400	タガノマツカゼ(セン6)	山下裕貴	佐賀・九日俊光
7/5	文月賞(3歳以上)	1750	マイネルハートレー(牡5)	山口 勲	佐賀・山田義人
7/13	吉野ヶ里記念(3歳以上)	1400	スイングエンジン(牡8)	田中 純	佐賀・真島元徳
7/19	カンナ賞(3歳以上)	1400	ビレッジオブベスト(牡5)	山下貴光	佐賀・濱田一夫
7/26	大村湾賞(3歳以上)	1400	ズンダモチ(牡8)	田中直人	佐賀・東 真市
8/3	仙酔峡賞(3歳以上)	1750	マイネルハートレー(牡5)	山口 勲	佐賀・山田義人
8/9	池田湖賞(3歳以上)	1750	シャイニーフェイト(牡6)	鮫島克也	佐賀・吉田 昭
8/10	尾鈴山賞(3歳以上)	1750	ディアフロイデ(牡6)	鮫島克也	佐賀・土井道隆
8/16	新涼賞(3歳以上)	1400	シキセイセイ(牝4)	鮫島克也	佐賀・手島勝利
8/19	サマーチャンピオンJpnⅢ(3歳以上)	1400	エーシンビートロン(牡8)	武幸四郎	JRA・西園正都
8/19	霧島賞(3歳以上九州産)	1400	ティエムゲッタン(牡3)	和田竜二	JRA・山内研二
8/24	志布志湾賞(3歳以上)	1400	ガンバルジャン(牡7)	渡辺博文	佐賀・濱田一夫
8/30	御船山賞(3歳以上)	1750	サエッターレ(牝5)	川島 拓	佐賀・土井道隆

競馬場別
騎手リーディング Top3

(2014年1月1日～8月19日)

※ 2014年8月現在の所属者のみ

ばんえい競馬

順位	氏 名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	鈴木恵介	516	110	57	59	21.3	32.4	11,926,000
2	西 謙一	601	106	91	76	17.6	32.8	12,181,000
3	藤本 匠	617	88	66	81	14.3	25.0	8,619,000

ホッカイドウ競馬

順位	氏 名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	宮崎光行	236	52	43	29	22.0	40.3	50,109,000
2	岩橋勇二	332	50	37	45	15.1	26.2	42,483,000
3	五十嵐冬樹	236	49	38	27	20.8	36.9	30,880,000

岩手競馬

順位	氏 名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	村上 忍	525	105	87	74	20.0	36.6	44,846,000
2	山本聡哉	511	94	68	68	18.4	31.7	37,637,000
3	高松 亮	532	80	76	63	15.0	29.3	28,744,000

金沢競馬

順位	氏 名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉田晃浩	311	72	43	42	23.2	37.0	25,526,000
2	藤田弘治	358	45	55	55	12.6	27.9	16,238,000
3	吉原寛人	185	40	25	17	21.6	35.1	12,891,000

笠松競馬

順位	氏 名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	向山 牧	293	72	52	30	24.6	42.3	15,555,000
2	吉井友彦	372	68	54	61	18.3	32.8	17,411,000
3	尾島 徹	324	62	61	41	19.1	38.0	17,108,000

名古屋競馬

順位	氏 名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	丸野勝虎	358	94	46	48	26.3	39.1	28,976,000
2	岡部 誠	350	86	75	50	24.6	46.0	26,458,000
3	安部幸夫	313	80	50	35	25.6	41.5	19,626,500

兵庫競馬

順位	氏 名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	木村 健	709	168	137	106	23.7	43.0	90,689,000
2	田中 学	781	167	127	96	21.4	37.6	82,944,250
3	川原正一	681	144	101	74	21.1	36.0	79,856,000

高知競馬

順位	氏 名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	赤岡修次	461	140	92	58	30.4	50.3	22,267,000
2	永森大智	425	106	79	56	24.9	43.5	18,396,000
3	西川敏弘	460	80	68	58	17.4	32.2	13,006,500

佐賀競馬

順位	氏 名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山口 勲	418	122	69	53	29.2	45.7	35,856,000
2	鮫島克也	278	61	56	49	21.9	42.1	20,585,000
3	真島正徳	258	61	45	27	23.6	41.1	16,515,000

Dirt Grade Data 作戦 JBC 特集

第14回

JBC
クラシック
JpnI

11月3日(祝・月)

盛岡 2000m

3歳以上

1着賞金 8000万円

フルゲート 16頭

開催地	枠番/馬番	馬名(所属)	性別	年齢	重量	騎手	調教師	タイム・差	人気	通過	前走	2走前
第13回 13.11.4 金沢2100m 曇・不良 12頭	1 ①	ホッコータルマエ(JRA)	牡	4	57	幸英明	西浦勝	R2.12.6	1	1-1-1-1	南部杯 JpnⅡ②	帝王賞 JpnⅠ①
	12 ⑫	ワンダーアキュート(JRA)	牡	7	57	武 豊	佐藤正	2	2	3-3-2-2	日本テレビ盃 JpnⅡ①	帝王賞 JpnⅠ③
	2 ②	ソリタリーキング(JRA)	牡	6	57	福永祐	石坂正	ハナ	5	4-4-3-3	日本テレビ盃 JpnⅡ②	マーキュリー C JpnⅢ①
	単勝① 140円 枠連複(1-8) 170円 馬連複(1-12) 240円 枠連単(1-8) 270円 馬連単(1-12) 350円 3連複(1-12-2) 550円 3連単(1-12-2) 1,230円											
第12回 12.11.5 川崎2100m 曇・良 13頭	6 ⑨	ワンダーアキュート(JRA)	牡	6	57	和田竜	佐藤正	2.12.5	5	3-3-5-3	東海 S GⅡ⑩	ダイオウゴト記念 GⅡ④
	11 ①	シビルウォー(JRA)	牡	7	57	内田博	戸田博	5	3	10-9-1-2	フリーダーズゴールド C JpnⅢ①	マーキュリー C JpnⅢ①
	13 ⑬	トランセンド(JRA)	牡	6	57	藤田伸	安田隆	3	1	2-2-1-1	ドバイワールド C GⅠ⑬	フェブラリース GⅠ⑦
	単勝⑨ 1,050円 枠連複(1-6) 1,990円 馬連複(1-9) 2,110円 枠連単(6-1) 4,940円 馬連単(9-1) 5,410円 3連複(1-9-13) 1,980円 3連単(9-1-13) 22,970円											
第11回 11.11.3 大井2000m 曇・良 12頭	7 ⑩	スマートファルコン(JRA)	牡	6	57	武 豊	小崎憲	2.02.1	1	1-1-1-1	日本テレビ盃 JpnⅡ①	帝王賞 JpnⅠ①
	10 ⑩	トランセンド(JRA)	牡	5	57	藤田伸	安田隆	1	2	2-2-2-2	南部杯 JpnⅠ①	ドバイワールド C GⅠ②
	1 ①	シビルウォー(JRA)	牡	6	57	吉田豊	戸田博	3 1/2	3	3-3-3-3	白山大賞典 JpnⅢ①	フリーダーズゴールド C JpnⅢ①
	単勝⑩ 120円 枠連複(7-7) 100円 馬連複(9-10) 100円 枠連単(7-7) 110円 馬連単(10-9) 150円 3連複(1-9-10) 160円 3連単(10-9-1) 250円											
第2回 02.11.4 盛岡2000m 曇・良 14頭	2 ②	アドマイヤドン(JRA)	牡	3	55	藤田伸	松田博	2.05.6	2	6-5-3-1	菊花賞 GⅠ④	札幌記念 GⅡ④
	10 ⑩	プリエミネンス(JRA)	牝	5	55	柴田善	伊藤圭	7	1	5-6-4-3	エルム S GⅢ①	マーキュリー C GⅢ①
	3 ④	カネツフルヴ(JRA)	牡	5	57	松永幹	山本正	1/2	3	2-3-1-1	帝王賞 GⅠ①	東海 S GⅡ⑤
	単勝② 450円 枠連複(2-6) 350円 馬連複(2-10) 350円 馬連単(2-10) 750円											

●過去13年の優勝馬はすべて中央勢

JBCスプリントとは違う意味で、堅い一戦。過去13年、優勝馬はすべて中央勢となっている。帝王賞や東京大賞典ですでに勝ち負けをしているレベルの実績は必須。夏場に実績を残した好調馬でも通用するが、勝ち切るのは容易ではない。近走、成

績があまりよくない馬でもGI(JpnI)級の實力馬ならば巻き返せる。そのため、ガチガチの上位人気ばかりが強いわけではない。5番人気以内までは警戒すべきだ。ここを狙ってきている馬の地力を信頼したい。今年は盛岡の2000mが舞台。同条件のダートグレードといえばマーキュリーカッ

プがある。レースがやや単調になる特徴があるものの、コース適性・実績が問われそうな印象だ。02年のJBCクラシックで2着となったプリエミネンスは、同年のマーキュリーカップを制していた。本番はアドマイヤドンに圧倒された形だが、1番人気として最低限の仕事は果たした。

第14回

JBC
スプリント
JpnI

11月3日(祝・月)

盛岡 1200m

3歳以上

1着賞金 6000万円

フルゲート 16頭

開催地	枠番/馬番	馬名(所属)	性別	年齢	騎手	調教師	タイム・差	人気	通過	前走	2走前
第13回 13.11.4 金沢1400m 曇・不良 12頭	8 ⑫	エスポワールシチー(JRA)	牡	8	57 後藤浩	安達昭	1.27.1	1	3-3-3-1	南部杯 JpnI①	かしわ記念 JpnI②
	6 ⑦	ドリームバレンチノ(JRA)	牡	6	57 M.フレロ	加用正	1 1/2	5	8-8-6-4	スプリンターズS GI⑥	セントウルS GI③
	5 ⑥	セイクリズムズン(JRA)	牡	7	57 岩田康	服部利	1/2	3	2-2-2-3	南部杯 JpnI③	プロキオンS GI②
	単勝⑩ 170円 枠連複(6-8)1,590円 馬連複(7-12)1,600円 枠連単(8-6)2,420円 馬連単(12-7)2,470円 3連複(6-7-12)2,050円 3連単(12-7-6)9,480円										
第12回 12.11.5 川崎1400m 曇・良 11頭	4 ④	タイセイレジェンド(JRA)	牡	5	57 内田博	矢作芳	R1.26.6	2	1-1-1-1	東京盃 JpnII②	クラスタース C JpnIII①
	3 ③	セイクリズムズン(JRA)	牡	6	57 岩田康	服部利	3	1	6-6-6-5	東京盃 JpnII③	さきたま杯 JpnII①
	6 ⑥	スーニ(JRA)	牡	6	57 川田将	吉田直	2	4	5-5-2-2	南部杯 JpnI⑤	サマーチャンピオン JpnIII③
	単勝⑩ 470円 枠連複(3-4)280円 馬連複(3-4)260円 枠連単(4-3)840円 馬連単(4-3)810円 3連複(3-4-6)870円 3連単(4-3-6)4,900円										
第11回 11.11.3 大井1200m 曇・良 14頭	6 ⑪	スーニ(JRA)	牡	5	57 川田将	吉田直	R1.10.1	1	10-10	東京盃 JpnII①	サマーチャンピオン JpnIII①
	7 ⑫	セイクリズムズン(JRA)	牡	5	57 幸英明	服部利	1 1/4	2	3-3	東京盃 JpnII④	かきつばた記念 JpnIII①
	15 ⑮	ダッシャーゴージャ(JRA)	牡	4	57 横山典	安田隆	アタマ	4	7-5	スプリンターズS GI⑪	セントウルSG II③
	単勝⑩ 250円 枠連複(6-7)360円 馬連複(11-12)460円 枠連単(6-7)660円 馬連単(11-12)930円 3連複(11-12-15)1,200円 3連単(11-12-15)4,750円										
第2回 02.11.4 盛岡1200m 曇・良 15頭	8 ⑮	スターリングローズ(JRA)	牡	5	57 福永祐	北橋修	1.11.4	1	3-1	南部杯 GI⑦	シリウスSG III①
	5 ⑤	ノボトゥルー(JRA)	牡	6	57 武 豊	森秀行	フビ	3	10-8	南部杯 GI④	日本テレビ盃 GI⑩
	9 ⑨	ノボジャック(JRA)	牡	5	57 蛸名正	森秀行	アタマ	4	5-6	北海道スプリントC GIII⑤	群馬記念 GIII①
	単勝⑤ 290円 枠連複(5-8)290円 馬連複(8-15)750円 馬連単(15-8)1,220円										

●連軸は上位人気馬で堅い

盛岡 1200mでは一度、02年に行われており1番人気のスターリングローズが優勝し、ノボトゥルーが2着という結果だった。人気サイドで決まる傾向は変わっておらず、過去13回中11回で1～2番人気馬が優勝。連軸は上位人気馬を据えるのがセオ

リーだ。ただ、1200m以下と、1400m以上のレースではややレースの質が違う。1200m以下の場合の方が、明確にスプリント能力が問われる。1400m以上だとマイルぐらいをこなせる方が有利に働く。今年は、1200m以下のダートグレードで実績がある快速馬に分があるだろう。

同時に、侮れないのが芝からの転戦馬。昨年では1400mだったが、初ダートのドリームバレンチノが2着に突っ込んだ。過去にもダッシュャーゴージャやサニングデールといった中央勢が好走を果たしている。中央のGIでは考えにくいケースだが、初ダートの馬でも案外通用してしまう。

第4回

JBC
レディスクラシック
JpnI

11月3日(祝・月)

盛岡 1800m

3歳以上牝馬

1着賞金 4100万円

フルゲート 16頭

開催地	枠番	馬番	馬名(所属)	性別	年齢	重量	騎手	調教師	タイム・差	人気	通過	前走	2走前
第3回 13.11.4 金沢1500m 曇・不良 12頭	2	②	メーディア(JRA)	牝	5	55	濱中俊	笹田和	1.33.3	1	2-2-2-1	レディスプレリュード JpnⅡ①	スパーキングレディー C JpnⅢ①
	6	⑪	アクティブビューティ(JRA)	牝	6	55	吉田準	柴田光	3	5	5-3-3-3	レディスプレリュード JpnⅡ②	エム S GⅢ①
	8	⑦	キムンレッド(JRA)	牝	5	55	戸崎圭	崎山博	2	3	4-5-5-4	室町 S(OP)③	内房 S(1600m)①
単勝② 100円 枠連複(2-8) 320円 馬連複(2-11) 330円 枠連単(2-8) 340円 馬連単(2-11) 360円 3連複(2-7-11) 810円 3連単(2-11-7) 1,630円													
第2回 12.11.5 川崎1600m 曇・良 12頭	8	⑫	ミラクルレジェンド(JRA)	牝	5	55	岩田康	藤原英	1.40.7	1	8-8-6-4	レディスプレリュード(交流 G)①	スパーキングレディー C JpnⅢ③
	2	②	クラーベセクレタ(船橋)	牝	4	55	戸崎圭	川島正	1 1/2	2	6-6-8-4	レディスプレリュード(交流 G)⑥	スパーキングサマー C①
	11	①	サクラサクサクラ(北海道)	牝	6	55	森泰斗	田中淳	3/4	10	1-1-1-1	レディスプレリュード(交流 G)⑦	ビュチフルドリーマー C①
単勝② 140円 枠連複(2-8) 170円 馬連複(2-12) 150円 枠連単(8-2) 220円 馬連単(12-2) 240円 3連複(1-2-12) 6,680円 3連単(12-2-1) 16,280円													
第1回 11.11.3 大井1800m 曇・良 13頭	4	④	ミラクルレジェンド(JRA)	牝	4	55	岩田康	藤原英	R1.49.6	2	7-7-5-5	レディスプレリュード(交流 G)①	関越 S(OP)①
	6	⑧	ラヴェリータ(JRA)	牝	5	55	武 豊	松元茂	3/4	1	4-4-4-3	レディスプレリュード(交流 G)②	スパーキングレディー C JpnⅢ①
	7	⑦	カラフルデイズ(JRA)	牝	3	53	福永祐	藤原英	7	6	3-3-3-4	レディスプレリュード(交流 G)⑦	レパード S GⅢ②
単勝④ 200円 枠連複(4-6) 120円 馬連複(4-8) 130円 枠連単(4-6) 270円 馬連単(4-8) 280円 3連複(4-7-8) 1,280円 3連単(4-8-7) 2,960円													

●最強牝馬が結果を出す舞台

レースの特性上、毎年施行競馬場が変わるのは仕方ないが、距離もここまで毎年異なる。今年は盛岡の1800m。第1回の大井と同じ距離だ。原則的には同距離を基本としているレースなので、距離は戻ったと言える。ただ、過去3回の勝ち馬は強い。

距離・競馬場は関係なく、結果を出せたような馬だった。ミラクルレジェンドもメーディアも、牝馬ダートグレード戦線で一枚力は抜けていた。そんな馬がいれば、話は早い。Road to JBCのレディスプレリュードが好ステップ。同レースで3着以下に敗れていた馬の巻き返しにも注意したい。



2013年JBCレディスクラシック 写真●斎藤 修

第48回 東京盃 JpnⅡ 10月1日(水) 大井1200m 3歳以上 1着賞金3500万円 フルゲート16頭	13.10.2 大井 1200m 晴・不良	8 14 タイセイレジェンド(JRA) 牡6 58 内田博 1.11.0 1人 1 1 テスタマツタ(JRA) 牡7 58 岩田康 3 1/2 3 7 13 アドマイヤサガス(JRA) 牡5 56 川田将 1/2 2 単勝⑬220円 枠連複(1-8)510円 馬連複(1-14)500円 枠連単(8-1)890円 馬連単(14-1)900円 3連複(1-13-14)540円 3連単(14-1-13)2,510円	●実績馬が複数回好走 1着馬にはJBCスプリントの優先出走権が与えられる。過去10年ではマイネルセレクトやサマーウインド、スーニがこれを制して、本番も優勝を果たしている。出走馬のレベルは高く、すでにJpnI勝ちの実績馬が強い。斤量は背負わされることになるが、フジノウェーブやパンブーエール、昨年はタイセイレジェンドが58キロで賞銀の勝利を果たしている。同じ馬が複数回好走しているのも大きな特徴。ラブミーチャンやリミットレスビッドもこのレースと相性が良かった。中央勢はほぼ人気サイド。穴ならば地方勢だが、その場合でも中央勢に匹敵する実績がないと好走するのは厳しい。
	12.10.3 大井 1200m 雨・稍重	8 15 ラブミーチャン(笠松) 牝5 54 濱口楠 1.11.2 6人 8 16 タイセイレジェンド(JRA) 牡5 56 内田博 1 1/2 2 6 11 セイクリムズン(JRA) 牡6 57 岩田康 クビ 1 単勝⑤1,840円 枠連複(8-8)3,260円 馬連複(15-16)3,120円 枠連単(8-8)3,180円 馬連単(15-16)10,480円 3連複(11-15-16)1,640円 3連単(15-16-11)29,250円	
	11.9.28 大井 1200m 晴・良	5 8 スーニ(JRA) 牡5 58 川田将 1.10.9 3人 10 10 ラブミーチャン(笠松) 牝4 54 濱口楠 1 8 5 9 マルカベンチャー(JRA) 牡5 56 安藤勝 3/4 4 単勝⑥570円 枠連複(5-6)390円 馬連複(8-10)12,760円 枠連単(5-6)1,150円 馬連単(8-10)17,750円 3連複(8-9-10)29,050円 3連単(8-10-9)192,730円	

第11回 レディスプレリュード JpnⅡ 10月2日(木) 大井1800m 3歳以上牝馬 1着賞金3100万円 フルゲート16頭	13.10.3 大井 1800m 曇・重	6 8 メーディア(JRA) 牝5 55 濱中俊 1.53.0 1人 7 11 アクティブューティ(JRA) 牝6 55 吉田圭 1 7 1 1 レッドクラウドピア(JRA) 牝4 55 福永拓 3/4 2 単勝⑥120円 枠連複(6-7)1,080円 馬連複(8-11)1,070円 枠連単(6-7)1,350円 馬連単(8-11)1,210円 3連複(1-8-11)830円 3連単(8-11-1)2,930円	●中距離実績馬が順当に好走 前身となるTCKディスタフは04年から行われているが、レディスプレリュードに名称変更となり、中央馬が参戦となったのが11年。よって、過去3年分のデータを重視すべきだろう。11年と12年はミラクルレジェンドが優勝。そして昨年はメーディアが勝利。いずれも続くJBCレディスクラシックを制しており、本番に直結する前哨戦となっている。2着馬は11年ラヴェリータ、13年アクティブューティが同年のダートグレードで連対の実績、12年プリンスペスカは2走前にしらばステークスで3着と中央のオープン特別で好走していた。中距離実績がある馬を素直に狙えばいい。
	12.10.4 大井 1800m 晴・不良	5 7 ミラクルレジェンド(JRA) 牝5 56 岩田康 1.54.0 1人 8 13 プリンセスペスカ(JRA) 牝6 55 幸英明 1 1/2 3 5 8 ダートムーア(JRA) 牝4 55 川田将 4 6 単勝⑦140円 枠連複(5-8)980円 馬連複(7-13)1,120円 枠連単(5-8)1,300円 馬連単(7-13)1,490円 3連複(7-8-13)5,820円 3連単(7-13-8)15,090円	
	11.9.29 大井 1800m 晴・良	8 15 ミラクルレジェンド(JRA) 牝4 56 岩田康 1.50.8 2人 8 6 ラヴェリータ(JRA) 牝5 57 武 豊 1 1/2 1 8 5 エーシンクールディ(笠松) 牝5 55 岡部誠 1 1/4 6 単勝⑩330円 枠連複(3-8)230円 馬連複(6-15)230円 枠連単(8-3)570円 馬連単(15-6)640円 3連複(5-6-15)1,910円 3連単(15-6-5)8,390円	

第34回 白山大賞典 JpnⅢ 10月7日(火) 金沢2100m 3歳以上 1着賞金2100万円 フルゲート12頭	13.10.8 金沢 2100m 曇・良	4 4 エーシンモアオーバー(JRA) 牡7 57 岩田康 2.13.6 4人 8 11 ハタノヴァンクール(JRA) 牡4 60 四位洋 1/2 2 6 8 シビルウォー(JRA) 牡8 58 内田博 ハナ 1 単勝④540円 枠連複(4-8)970円 馬連複(4-11)1,010円 枠連単(4-8)1,920円 馬連単(4-11)2,530円 3連複(4-8-11)320円 3連単(4-11-8)4,740円	●58kg以上はやや割り引きが必要 過去5年で1番人気の勝利は12年ニホンピロアワーズのみ。大荒れこそないものの、順当な結果というわけでもない。ダートグレードや中央のオープン特別での好走実績は必要だが、09年サラート(59キロ・5番人気で2着)や13年シビルウォー(58キロ・1番人気で3着)、13年ハタノヴァンクール(60キロ・2番人気で2着)が惜敗するなど、58キロ以上を背負っている場合は、やや割り引きが必要。1700mまでの勝利しかなかったアドマイヤスバルが制しているように、1800m程度をこなせる馬であれば距離の心配はそれほどしなくてもいいだろう。
	12.10.2 金沢 2100m 曇・不良	8 12 ニホンピロアワーズ(JRA) 牡5 57 酒井孝 2.12.9 1人 1 1 ナムラダイキチ(金沢) 牝4 54 畑中信 4 2 7 10 エーシンモアオーバー(JRA) 牡6 54 藤田伸 2 1/2 3 単勝⑫150円 枠連複(1-8)330円 馬連複(1-12)330円 枠連単(8-1)580円 馬連単(12-1)480円 3連複(1-10-12)370円 3連単(12-1-10)1,300円	
	11.10.4 金沢 2100m 晴・良	2 2 シビルウォー(JRA) 牡6 57 吉田豊 2.14.3 3人 8 12 ニホンピロアワーズ(JRA) 牡4 54 酒井孝 2 1/2 1 6 8 メイショウタモトモ(JRA) 牝6 54 武 豊 5 2 単勝②340円 枠連複(2-8)390円 馬連複(2-12)390円 枠連単(2-8)880円 馬連単(2-12)950円 3連複(2-8-12)260円 3連単(2-12-8)1,640円	

第27回 マイルチャンピオンシップ 南部杯 JpnI 10月13日(祝・月) 盛岡1600m 3歳以上 1着賞金4500万円 フルゲート15頭	13.10.14 盛岡 1600m 晴・良	6 8 エスポワールシチー(JRA) 牡8 57 後藤浩 1.35.1 2人 8 12 ホッコータルマエ(JRA) 牡4 57 幸英明 1 1/2 1 7 10 セイクリムズン(JRA) 牡7 57 岩田康 3 5 単勝④450円 枠連複(6-8)160円 馬連複(8-12)200円 馬連単(8-12)760円 3連複(8-10-12)860円 3連単(8-12-10)4,090円	●コース適性が問われ、同一馬の活躍が際立つ 秋の古馬ダートGI(JpnI)戦線のオープニングを飾る一戦。休み明けでの仕上がり具合がポイントとなるが、ほぼ問題は無い。昨年は5連勝中の大本命ホッコータルマエを下してエスポワールシチーが優勝。8歳にして連覇、なおかつ南部杯3勝目を飾った。その前にはブルーコンコルドが06～08年と3連覇。04～05年はユートピアが連覇を飾っている。GI(JpnI)競走でこれだけ同一の馬が活躍するのはめずらしい。左回りのマイル戦は一般的な条件だが、盛岡競馬場は特にコース適性が問われる印象だ。スピードがある逃げ・先行馬が有利で、差し馬はやや勝ちにくい。
	12.10.8 盛岡 1600m 晴・良	6 10 エスポワールシチー(JRA) 牡7 57 佐藤哲 1.35.9 1人 4 6 ダイショウジェット(JRA) 牡9 57 柴山雄 4 6 1 1 アドマイヤロイヤル(JRA) 牡5 57 安藤勝 6 3 単勝⑩110円 枠連複(4-6)1,310円 馬連複(6-10)1,460円 馬連単(10-6)1,700円 3連複(1-6-10)1,700円 3連単(10-6-1)5,110円	
	11.10.10 J東京 1600m 晴・良	4 11 トランセンド(JRA) 牡5 57 藤田伸 1.34.8 1人 6 6 ダンカモト(JRA) 牡5 57 福永拓 アタマ 3 5 8 シルクフォーチェン(JRA) 牡5 57 藤岡康 1/2 7 単勝①160円 枠連複(4-6)240円 馬連複(6-11)600円 馬連単(11-6)800円 3連複(6-8-11)3,610円 3連単(11-6-8)8,790円	

第17回 エーデルワイス賞 JpnⅢ 10月16日(木) 門別1200m 2歳牝馬 1着賞金2000万円 フルゲート16頭	13.10.10 門別 1200m 晴・稍重	8 5 フクドリーム(JRA) 牝2 54 横山和 1.11.6 1人 2 3 ラブミーブルー(北海道) 牝2 54 宮崎光 4 12 16 16 ビグニックソング(JRA) 牝2 54 五十冬 2 9 単勝⑤150円 枠連複(2-3)2,370円 馬連複(3-5)12,450円 馬連単(5-3)18,460円 3連複(3-5-16)196,410円 3連単(5-3-16)1,227,740円	●JRA勢と地方勢は拮抗 06～08年は旭川の1600mで行われており、再び門別の1200mに戻ったのは09年。それ以降は同一条件で行われている。その近5年はJRA勢が3勝、道営勢が2勝。2着はすべて道営勢で、地元の活躍が目立つ。仕上がり早さと地元の利が大きく結果に影響している。道営で勝った2頭はいずれも前走フローラルカップで連対。昔から同レースの好走馬が相性がいい。2～3着は難解で、二けた人気馬の突っ込みも十分ある。中央勢は基本的に短距離を使われている馬の出走が多い。実際にダートで勝っているか、血統的にダートに高い適性がありそうな馬を狙いたい。
	12.10.25 門別 1200m 雨・稍重	6 10 ハニーパイ(北海道) 牝2 54 桑村真 1.12.4 5人 7 12 ピッチシフター(北海道) 牝2 54 阿部龍 1 11 8 8 ヴェントス(JRA) 牝2 54 福永拓 1/2 4 単勝⑩1,070円 枠連複(6-7)4,900円 馬連複(10-12)17,150円 馬連単(10-12)26,800円 3連複(8-10-12)68,810円 3連単(10-12-8)731,860円	
	11.10.13 門別 1200m 晴・稍重	4 8 シェアースマイル(JRA) 牝2 54 丸山元 1.13.3 1人 5 9 シーキングブレイヴ(北海道) 牝2 54 小嶋久 1/2 7 5 10 ロクイチスマイル(北海道) 牝2 54 服部茂 1/2 4 単勝⑧180円 枠連複(4-5)650円 馬連複(8-9)3,020円 馬連単(8-9)4,390円 3連複(8-9-10)3,820円 3連単(8-9-10)20,140円	

第41回 北海道2歳優駿 JpnⅢ 11月6日(木) 門別1800m 2歳 1着賞金2000万円 フルゲート14頭	13.11.7 門別 1800m 雨・重	5 5 ハッピースプリント(北海道) 牡2 55 宮崎光 1.52.5 1人 1 1 アースコネクター(JRA) 牡2 55 横山典 2 3 3 3 エイシンホクトセイ(北海道) 牡2 55 阿部龍 4 10 単勝⑤150円 枠連複(1-5)750円 馬連複(1-5)920円 馬連単(5-1)1,360円 3連複(1-3-5)12,070円 3連単(5-1-3)42,730円	●地方勢は前走5着以内が最低条件 昨年はハッピースプリントが1番人気に依って優勝。3着には道営所属の10番人気馬エイシンホクトセイが好走した。門別ダート1800mで行われた近6年で1番人気馬は3勝。JRA所属馬と道営馬をはじめとする地方勢が初対決となることが多く、力関係が難しい一戦だ。JRA所属馬は一昨年優勝のアルムダブタのようにキャリア1戦で好走する馬もいるが、東京のプラタナス賞で上位に入った馬に注目。11年のオーブルチェフらが該当する。地方馬は前走で5着以内に入っていることが最低条件。なかでも昨年の1、3着馬はサンライズカップで連対を果たしていた。
	12.11.8 門別 1800m 晴・重	6 6 アルムダブタ(JRA) 牡2 55 幸英明 1.53.5 7人 1 1 コスモルデス(JRA) 牝2 54 丹内祐 1 1/2 8 4 4 カイカヨシウ(北海道) 牝2 54 服部茂 1 1/2 5 単勝⑥1,150円 枠連複(1-6)4,520円 馬連複(1-6)3,770円 馬連単(6-1)8,230円 3連複(1-4-6)13,100円 3連単(6-1-4)74,630円	
	11.11.10 門別 1800m 晴・良	8 13 オーブルチェフ(JRA) 牡2 55 中館英 1.53.1 1人 5 7 ペルモントレイサー(JRA) 牡2 55 津村明 8 7 9 9 シーキングブレイヴ(北海道) 牝2 54 小嶋久 1 1/2 9 単勝③100円 枠連複(5-8)900円 馬連複(7-13)1,050円 馬連単(13-7)1,100円 3連複(7-9-13)10,580円 3連単(13-7-9)19,510円	

第35回 浦和記念 JpnⅡ 11月19日(水) 浦和2000m 3歳以上 1着賞金3500万円 フルゲート11頭	13.11.20 浦和 2000m 晴・良	② ランフォルセ(JRA) 牡7 57 戸崎主 2.07.6 3人 ⑥ シビルウォー(JRA) 牡8 57 内田博 1 1 ⑧ エーシンモアオーバー(JRA) 牡7 57 岩田康 8 2 単勝②720円 枠連複(2-6)440円 馬連複(2-6)530円 枠連単(2-6)1,200円 馬連単(2-6)1,410円 3連複(2-6-9)130円 3連単(2-6-9)1,960円	●強い決着が多いが、波乱の年も 昨年はランフォルセが1番人気のシビルウォーの追撃を凌いで勝利。近2年はJRA勢が上位3着までを独占している。過去10年で1番人気馬は【4.3.1.2】と意外に勝ち切れていない。09年には1番人気スマートファルコンが7着とまさかの敗退。4番人気の川崎・ブルーラッドが勝利し、2着には5番人気の船橋・ルースリンドが入った。同年を含め、地方馬が4勝と健闘。GI(JpnI)シリーズの狭間にあるレースなので、地方勢が付け入る隙はある。前走レース別では近2年は白山大賞典と日本テレビ盃組で上位を独占。地方勢では埼玉栄冠賞組、東京記念組の活躍が目立っている。
	12.11.21 浦和 2000m 晴・稍重	7 ビーニハイウェイ(JRA) 牡7 56 岩田康 2.07.5 4人 ⑧ エーシンモアオーバー(JRA) 牡6 56 戸崎主 1 3 ⑦ ランフォルセ(JRA) 牡6 57 R.ムーア アタマ 1	
	11.11.24 浦和 2000m 晴・良	⑩ ボランタス(川崎) 牡7 56 山崎誠 2.08.6 4人 ③ シビルウォー(JRA) 牡6 57 吉田豊 クビ 1 ⑥ ボレアス(JRA) 牡3 54 武 豊 3/4 1 単勝⑩1,110円 枠連複(3-8)360円 馬連複(3-10)400円 枠連単(8-3)1,700円 馬連単(10-3)1,840円 3連複(3-6-10)500円 3連単(10-3-6)5,880円	

第16回 兵庫ジュニアグランプリ JpnⅡ 11月26日(水) 園田1400m 2歳 1着賞金2200万円 フルゲート12頭	13.11.28 園田 1400m 晴・稍重	⑧ ニシケンモノノフ(JRA) 牡2 55 福永祐 1.28.0 2人 ⑦ マキャヴィティ(JRA) 牡2 55 戸崎主 1/2 5 ④ リーダーズボード(名古屋) 牡2 55 戸部尚 1 1/2 3 単勝⑧190円 枠連複(6-8)2,730円 馬連複(7-11)3,040円 馬連単(11-7)3,410円 3連複(4-7-11)6,380円 3連単(11-7-4)21,360円	●近3年は1番人気馬が不振 昨年はニシケンモノノフがマキャヴィティを半馬身退けて優勝。過去10年で1番人気馬は08年スーニが4勝をあげているが、近3年はいずれも4着以下に敗れている。地方馬は08年を除いて、毎年1頭は3着以内に入っており、昨年は名古屋所属のリーダーズボードが3着に好走。前走で名古屋・ゴールドウィング賞を勝利していた同馬をはじめ、近5年で3着以内に入った地方馬はすべて前走を勝利していた。JRA勢は前走でダート500万下を勝利した馬が中心。また、11年優勝のゴーイングパワーのように前走芝のレースからダート替わりで好走する馬にも注意だ。
	12.11.29 園田 1400m 曇・稍重	④ ケイアイレオーネ(JRA) 牡2 55 幸英明 1.26.4 3人 7 アップトゥデイト(JRA) 牝2 55 下原理 5 2 ⑧ ハニーマイ(北海道) 牝2 54 木村健 2 4 単勝④340円 枠連複(4-7)230円 馬連複(4-8)560円 馬連単(4-8)1,040円 3連複(4-8-11)2,210円 3連単(4-8-11)7,410円	
	11.11.23 園田 1400m 曇・稍重	⑥ ゴーイングパワー(JRA) 牡2 54 和田竜 1.28.8 2人 ① フリスコベイ(JRA) 牝2 53 福永祐 3 1/2 3 ⑤ エーシンユリシーズ(兵庫) 牡2 54 田中学 1/2 5 単勝⑥300円 枠連複(1-6)1,620円 馬連複(1-8)1,540円 馬連単(8-1)2,200円 3連複(1-5-8)6,600円 3連単(8-1-5)20,180円	

第60回 クイーン賞 JpnⅢ 12月3日(水) 船橋1800m 3歳以上牝馬 1着賞金2100万円 フルゲート14頭	13.12.4 船橋 1800m 晴・良	④ アクティビューティ(JRA) 牝6 55 吉田隼 1.52.6 1人 ① サクラサクラサクラ(大井) 牝7 52 山崎誠 2 7 ⑧ カラフルデイズ(JRA) 牝5 54 福永祐 1 1/2 5 単勝④280円 枠連複(1-4)6,220円 馬連複(1-4)6,180円 枠連単(4-1)6,340円 馬連単(4-1)8,500円 3連複(1-4-13)11,920円 3連単(4-1-13)74,100円	●人気薄の地方勢に注意 昨年は1番人気のアクティビューティが優勝。過去10年の1番人気馬の成績は【4.4.1.1】で、連対率80%・複勝率90%と高い。地方勢は09年ユキチャン(川崎)、11年クラーベセクレタ(船橋)の2勝だが、09年には上位3着までを独占した。また、近5年は伏兵馬の台頭が目立ち、09年パノラマビューティ(10番人気)、10年トウホクビジン(10番人気)、12年アドマイヤインディ(12番人気)とニケタ人気の地方馬が3着に激走している。昨年も7番人気のサクラサクラサクラが逃げて2着と好走。前走レース別では近3年続けてJBCレディスクラシック組が3着以内に好走している。
	12.12.5 船橋 1800m 晴・稍重	① レッドクラウディア(JRA) 牝3 53 内田博 1.53.3 6人 ⑧ クラーベセクレタ(船橋) 牝4 56 戸崎主 4 1 ④ アドマイヤインディ(高知) 牝6 51 宮川実 1 1/2 12 単勝①1,000円 枠連複(1-8)880円 馬連複(1-14)1,190円 枠連単(1-8)2,020円 馬連単(1-14)3,600円 3連複(1-5-14)72,280円 3連単(1-14-5)427,330円	
	11.12.7 船橋 1800m 晴・不良	7 クラーベセクレタ(船橋) 牝3 54 戸崎主 1.53.2 1人 ⑩ プレシャスジェムズ(JRA) 牝4 53 吉田隼 1/2 4 ① カラフルデイズ(JRA) 牝3 54 岩田康 2 2 単勝⑦150円 枠連複(6-7)610円 馬連複(10-11)690円 枠連単(7-6)760円 馬連単(11-10)960円 3連複(1-10-11)890円 3連単(11-10-1)3,120円	

第65回 全日本2歳優駿 JpnI 12月17日(水) 川崎1600m 2歳 1着賞金3500万円 フルゲート14頭	13.12.18 川崎 1600m 雨・稍重	⑥ ハッピーズプリント(北海道) 牡2 55 宮崎光 1.40.4 1人 ③ スザク(JRA) 牡2 55 武 豊 1 1/2 5 ③ サーマビレー(船橋) 牡2 55 御神訓 6 8 単勝⑥250円 枠連複(3-6)1,150円 馬連複(4-9)1,710円 枠連単(6-3)2,250円 馬連単(9-4)2,750円 3連複(3-4-9)15,630円 3連単(9-4-3)53,630円	●近2年は北海道2歳優駿で穴 昨年は当時、北海道所属だったハッピーズプリントが1番人気に応えて優勝。過去10年で地方勢は06年プリオンズ(船橋)、09年ラプミーチャン(笠松)と合わせて3勝しており、11年を除いて、毎年1頭は3着以内に入っている。12年は2着に7番人気のジェネラルグラント、昨年は3着に8番人気のサービレーと人気薄の地方馬が好走。ともに前走北海道2歳優駿で5着以下に敗れていた。同組は好走馬だけでなく、敗退馬の巻き返しに注意だ。他では兵庫ジュニアグランプリの好走馬も中心となる。JRA勢ではダートの2歳500万下で強い勝ち方をした馬に注目したい。
	12.12.19 川崎 1600m 晴・良	③ サマリーズ(JRA) 牝2 54 藤岡佑 1.41.9 3人 ④ ジェネラルグラント(船橋) 牡2 55 石崎駿 3 7 ⑥ アップトゥデイト(JRA) 牡2 55 岩田康 3/4 1 単勝③400円 枠連複(3-4)710円 馬連複(3-6)5,500円 枠連単(3-4)1,540円 馬連単(3-5)9,600円 3連複(3-5-9)7,120円 3連単(3-5-9)55,260円	
	11.12.14 川崎 1600m 曇・重	⑧ オーブルチェフ(JRA) 牡2 55 中館英 1.41.6 1人 ⑤ メジャーアスリート(JRA) 牡2 55 蛸名正 3/4 2 ④ ヴェアリアスムーン(JRA) 牡2 55 岩田康 3/4 3 単勝⑧110円 枠連複(5-8)220円 馬連複(6-11)220円 枠連単(8-5)270円 馬連単(11-6)260円 3連複(4-6-11)560円 3連単(11-6-4)1,040円	

第14回 名古屋グランプリ JpnⅡ 12月23日(祝・火) 名古屋2500m 3歳以上 1着賞金3100万円 フルゲート12頭	13.12.25 名古屋 2500m 晴・稍重	7 シビルウォー(JRA) 牡8 57 内田博 2.43.3 3人 ③ トウショウフリーク(JRA) 牡6 56 武 豊 3 5 ① ナイスミューチャー(JRA) 牡6 56 小牧太 クビ 1 単勝⑦380円 枠連複(3-7)1,200円 馬連複(3-9)1,170円 馬連単(9-3)2,200円 3連複(1-3-9)1,070円 3連単(9-3-1)7,910円	●近2年は浦和記念組が優勝 降雪のために中止となった05年を除く過去9回はすべてJRA勢が勝利。地方馬は07年3着のチャンストウライ以来、3着以内に入っていない。JRA勢では08年・10年優勝のワンダースピード、11年2着・12年1着のエーシンモアオーバーなど複数回好走する馬がいる。近2年は一昨年のエーシンモアオーバー、昨年のシビルウォーと浦和記念組が続けて優勝。ただ、前走レース別では、ジャパンカップダート(今年からはチャンピオンズカップ)組に注目すべきだ。過去9回では、12年を除いて、毎年1頭は3着以内に入っている。中京ダート1800mが舞台となるが、その傾向は変わらないだろう。
	12.12.24 名古屋 2500m 晴・重	7 エーシンモアオーバー(JRA) 牡6 56 岡部誠 R2.40.3 3人 ③ クラシカルノヴァ(JRA) 牡4 56 濱口橘 1/2 4 ④ オースミイチバ(兵庫) 牡3 55 川島信 9 6 単勝⑦390円 枠連複(3-7)1,170円 馬連複(3-8)1,090円 馬連単(8-3)2,470円 3連複(3-4-8)4,150円 3連単(8-3-4)17,130円	
	11.12.23 名古屋 2500m 晴・良	② ニホンピロアワーズ(JRA) 牡4 56 酒井学 2.45.6 1人 ⑩ エーシンモアオーバー(JRA) 牡5 56 岡部誠 2 4 7 マイネルアワグラス(JRA) 牡7 56 松岡正 7 5 単勝②180円 枠連複(2-8)780円 馬連複(2-10)760円 枠連単(2-8)1,090円 馬連単(2-10)1,220円 3連複(2-8-10)2,220円 3連単(2-10-8)5,560円	

第14回 兵庫ゴールドトロフィー JpnⅢ 12月24日(水) 園田1400m 3歳以上 1着賞金2100万円 フルゲート12頭	13.12.28 園田 1400m 晴・重	⑩ ドリームバレンチノ(JRA) 牡6 59 岩田康 1.25.5 2人 ① エプソムアローン(高知) 牡9 51 下原理 4 6 ⑥ ダイショウジェット(JRA) 牡10 57 柴山雄 4 5 単勝⑩270円 枠連複(1-8)6,120円 馬連複(1-10)11,380円 馬連単(10-1)14,410円 3連複(1-6-10)29,250円 3連単(10-1-6)157,590円	●ハンデ不問、高齢馬の活躍が目立つ 昨年は斤量59キロで2番人気ドリームバレンチノが快勝。07年にハンデ戦に変更されているが、斤量差の影響はまったく感じさせず、57.5キロ以上の馬が8連勝している。06年・07年連覇のリミットレスビッド、09年・10年連覇のトーセンブリットなど続けて好走する馬が多い。なお、地方勢は近4年では毎年2着が3着に1頭ずつ入っており、昨年は6番人気エプソムアローン(高知)が2着と好走した。また、高齢馬の好走が多いのも特徴。近5年では3着以内馬15頭中6頭が8歳以上だった。前走レース別では、JBCスプリント組に注目。3年連続で連対馬を出している。
	12.12.26 園田 1400m 晴・稍重	⑤ ティアップワイルド(JRA) 牡6 58.5 石橋脩 1.26.4 3人 7 ダイショウジェット(JRA) 牡9 57.5 柴山雄 3 1/2 4 ⑩ オオエライジン(兵庫) 牡4 54 木村健 1 1/4 5 単勝⑥450円 枠連複(5-6)2,150円 馬連複(6-7)2,190円 馬連単(6-7)3,810円 3連複(6-7-10)4,010円 3連単(6-7-10)23,100円	
	11.12.28 園田 1400m 晴・良	③ スーニ(JRA) 牡5 59.5 川田将 1.27.3 1人 ① セイクリムズン(JRA) 牡5 58 武 豊 2 2 ⑧ オオエライジン(兵庫) 牡3 54 木村健 1/2 3 単勝③200円 枠連複(1-3)260円 馬連複(1-3)220円 馬連単(3-1)450円 3連複(1-3-11)450円 3連単(3-1-11)1,500円	

第60回 東京大賞典 GI 12月29日(月) 大井2000m 3歳以上 1着賞金7000万円 フルゲート16頭	13.12.29 大井 2000m 晴・良	⑤⑤ ホッコータルマエ(JRA) 牡4 57 幸英明 2,06.6 1人 ④④ ワンダーアキュート(JRA) 牡7 57 武豊 1 1/2 2 ⑥⑥ ニホンピロアワーズ(JRA) 牡6 57 酒井学 2 1/2 3 単勝⑤ 160円 枠連複(4-5)250円 馬連複(4-5)240円 枠連単(5-4)350円 馬連単(5-4)370円 3連複(4-5-6)160円 3連単(5-4-6)560円	●近2年は4歳馬が優勝 昨年は1番人気に推されたホッコータルマエが優勝。過去10年で1番人気馬は【4.2.2.2】。近7年はすべて3着以内に入っている。地方勢の勝利は04年・05年と連覇のアジュディミツオーのみで、10年2着フリオーン以降は3着以内馬が出ていない。前走レース別では、ジャパンカップダート組が3着以内馬30頭中24頭を占めている。ただし、同レースでの結果は直結しないので注意。その他はJBCクラシック組3頭、浦和記念組2頭、ベテルギウスステークスが1頭。年齢別勝利数では4歳馬が最多の4勝。一昨年のローマンレジェンド、昨年のホッコータルマエも4歳での勝利だった。
	12.12.29 大井 2000m 曇・重	⑥⑧ ローマンレジェンド(JRA) 牡4 57 岩田康 2,05.9 2人 ④④ ハタノヴァンクール(JRA) 牡3 55 内田博 1/2 3 ②② ワンダーアキュート(JRA) 牡6 57 和田竜 アタマ 1 単勝⑥ 260円 枠連複(4-6)900円 馬連複(4-8)1,040円 枠連単(6-4)1,540円 馬連単(8-4)1,530円 3連複(2-4-8)390円 3連単(8-4-2)2,940円	
	11.12.29 大井 2000m 晴・良	⑧⑫ スマートファルコン(JRA) 牡6 57 武豊 2,01.8 1人 ④④ ワンダーアキュート(JRA) 牡5 57 和田竜 ハナ 3 ⑧⑪ テスタマッタ(JRA) 牡5 57 岩田康 2 4 単勝⑧ 100円 枠連複(4-8)260円 馬連複(4-12)260円 枠連単(8-4)290円 馬連単(12-4)290円 3連複(4-11-12)1,080円 3連単(12-4-11)1,780円	

岩手競馬 総合&重賞・特別競走リーディング

■岩手競馬 総合リーディング

順位	騎手名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	3着内率(%)
1	村上忍	1273	230	213	166	18.1	34.8	47.8
2	山本聡	1329	223	198	161	16.8	31.7	43.8
3	山本政	1351	171	131	152	12.7	22.4	33.6
4	齋藤雄	1253	158	150	154	12.6	24.6	36.9
5	関本淳	1114	141	132	111	12.7	24.5	34.5
6	坂口裕	1142	129	128	117	11.3	22.5	32.7
7	小林俊	759	126	107	99	16.6	30.7	43.7
8	高松亮	1235	125	144	144	10.1	21.8	33.4
9	高橋悠	1250	114	121	133	9.1	18.8	29.4
10	南郷家	997	104	105	125	10.4	21.0	33.5
11	菅原俊	1000	87	110	106	8.7	19.7	30.3
12	陶文峰	990	67	72	94	6.8	14.0	23.5
13	阿部英	791	60	93	83	7.6	19.3	29.8
14	木村暁	917	59	63	88	6.4	13.3	22.9
15	大坪慎	1040	49	52	84	4.7	9.7	17.8
16	菅原辰	988	48	63	64	4.9	11.2	17.7
17	菊地康	864	42	51	63	4.9	10.8	18.1
18	鈴木麻	59	2	1	0	3.4	5.1	5.1

■岩手競馬 重賞・特別競走リーディング

順位	注目	騎手名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	3着内率(%)
1		村上忍	126	22	14	17	17.5	28.6	42.1
2		山本聡	124	17	14	21	13.7	25.0	41.9
3		山本政	110	13	17	11	11.8	27.3	37.3
4	↑	小林俊	101	13	7	8	12.9	19.8	27.7
5	↑	高松亮	111	10	10	11	9.0	18.0	27.9
6		齋藤雄	110	9	6	7	8.2	13.6	20.0
7		坂口裕	80	9	5	4	11.3	17.5	22.5
8		関本淳	80	7	7	8	8.8	17.5	27.5
9	↑	菅原俊	75	5	6	8	6.7	14.7	25.3
10	↑	陶文峰	66	5	3	4	7.6	12.1	18.2
11		高橋悠	96	4	11	9	4.2	15.6	25.0
12		南郷家	76	4	7	9	5.3	14.5	26.3
13		阿部英	59	4	2	2	6.8	10.2	13.6
14	↑	菅原辰	47	1	2	3	2.1	6.4	12.8
15		木村暁	31	0	3	1	0.0	9.7	12.9
16		大坪慎	51	0	2	0	0.0	3.9	3.9
17		菊地康	38	0	1	0	0.0	2.6	2.6
18		鈴木麻	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0

※ 2013年1月1日～2014年7月10日の成績。2014年7月現在の現役騎手(期間限定騎乗を除く)を掲載

「総合」より「重賞・特別」のほうが順位を大きく上げている騎手には「↑」マークをつけた。



[五重勝単勝式]

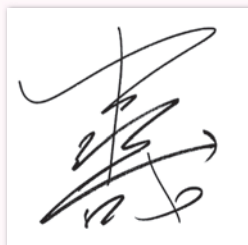
第1位	5,919,620円(1口)	6/18 園田
第2位	3,493,700円(1口)	7/17 園田
第3位	2,805,700円(2口)	7/4 園田
第4位	1,096,850円(5口)	7/23 園田
第5位	701,680円(2口)	7/19 帯広
第6位	576,870円(1口)	8/25 水沢
第7位	549,670円(2口)	6/5 園田

[七重勝単勝式]

第1位	875,730円(8口)	7/26 帯広
第2位	344,820円(1口)	7/5 佐賀

読者プレゼント

①山本聡哉騎手直筆サイン色紙
3名様



提供：山本聡哉騎手

②安藤勝己元騎手・勝負服お守り
3名様



提供：笠松競馬愛馬会

③オッズパークオリジナルQUOカード(500円分)
5名様

提供：オッズ・パーク株式会社

ご希望の方は官製はがきに、①ご希望のプレゼント名、②住所・氏名、③年齢、④Odds Park Clubで読みたい企画、⑤Odds Parkを利用してお感想、⑥Odds Parkへのご意見・要望を明記の上、下記まで。締切は10月20日(月)の消印有効。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお、個人情報については景品の発送以外の目的では使用いたしません。

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-47-4-503
有限会社サイト OPC編集部 プレゼント係

ジョッキーインタビュー

取材・文●浅野靖典

岩手では山本聡哉騎手の上昇ぶりが目まじしい。昨年は最終的には村上忍騎手がリーディングジョッキーとなったが、山本騎手は2勝差で第2位。8月18日までの勝利数で出場者が決定するスーパージョッキーズトライアルへの初出場も実現させた。

2011年は岩手で10位だったが、一昨年と昨年は2位。そして今年も順調に勝ち星を重ねている。

運がよかっただけだと思いますよ。(菅原) 勲さんが引退して、その分の勝ち星がうまくこちらに回ってきただけという感じがしていますから。以前と何が変わったかと聞かれても、自分自身ではよくわからないんですよね。デビュー当初から、信頼を積み重ねることが大切だと考えているのは変わっていないですし。

山本騎手は、高知、笠松、南関東で期間限定騎乗を経験している。それも今に生きているのだろうか。

笠松に行ったとき、東川(公則)さんの立ち居振る舞いを見て、こういうふうになれば間違いがないんだろうなと感じましたね。以前から気を付けていたことではあるのですが、あいさつなどをしっかりすることは本当に重要だと再確認しました。

どうしても目立ってしまう仕事だけに、日常の行動から気を付けたいところだが、なかなか常というの難しいものだ。

ここ何年かは冬の間、育成牧場のお世話になっているんですよ。牧場だと普段の調教より馬の背中にいる時間が長いですし、馬の世界に入り込めるという感覚があります。それに厩舎作業からみんなと一緒にすることで、厩務員さんの苦労もわかってきますよね。そうすれば日頃の態度もおのずから変わってきますし、そういった育成牧場での生活で、自分の考えかたがより確かになっていった感じがあります。

そうした道のりを経てリーディング上位まで成績を上げたが、多くの騎手がそうであるように、デビュー当初はなかなか思うようにはいかなかった。



コウギョウデジタルでJBCを目指す(写真は7月20日、フェアリーカップ) 写真●岩手県競馬組合

兄(政聡騎手)もデビュー後は成績がいまひとつで、騎手をやめようかなと言っていたほど。それがあある年を境に急に成績が上がりました。兄は人あたりがいいですし、誠意をもって自分の意見や考えを伝えられる人。その背中がいい手本になって、ここまで来られたような気がします。

そして兄に続いて弟も徐々に歯車がかみ合っていて、昨年は世界に通じる舞台も踏むことができた。

スーパージョッキーズトライアルは初出場でしたが、レース前はあまり緊張しなかったんですね。でもそれがレース直前になると、空気感が一気に変わりました。結果は厳しいものになりましたが(11位)、こういう場所には毎年来ることに意味があるんだなと感じました。

今年はワイルドカードからの出場。それでも再びトップジョッキー同士の戦いには挑むことができる。

そういう舞台は刺激になります。でもやっぱりいちばんに考えなければならないのは、目の前の1頭1頭をしっかりと乗るといことですね。日々をおろそかにしないことを大切に。逆にそこがきちんとできていないと、崩れるのも早いと思うんですよ。

そういった考えを実践していることが、出走回避で実現こそしなかったが、マーキュリーカップでのナムラタイタンの騎乗依頼につながったのかもしれない。

その話をいただいたときはびっくりしましたよ。僕でいいのかなんて。同時にリーディングの上のほうにいますと、こういうチャンスが巡ってくる人が多いんだなと、実感しました。

ここまでの話の内容は、常に“謙虚”。普段からそうなのだろうか。

デビュー当初はレースにあまり出られませんでした。そういう時期に自分を客観的に観て、日常生活から変えないとダメだなと思ったんです。具体的には、部屋をきれいにすることから始めました。

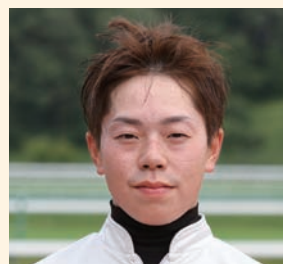
それを軸として、自分を律する術が身についてきたのかも。今季もリーディングへの可能性を残しているなか、盛岡競馬場では12年ぶり2回目のJBC開催を迎える。

前回のJBCは中学生のときですね。兄が(地方競馬)教養センターに入って、自分もそのあとを追っていた頃だと思いますが、JBCの記憶はあまりないですね。

盛岡のダートコースは本当にパワーと精神力が必要で、馬によってはの向き不向きがかなりあります。(JBCレディスクラシックに)コウギョウデジタルが出走するかも

山本聡哉(岩手)

やまもと としや



1988年1月30日生まれ みずがめ座 B型
岩手県出身 佐藤浩一厩舎
初騎乗/2005年4月16日
通算成績/5,872戦671勝
重賞勝ち鞍/フェアリーカップ、あすなろ賞、あやめ賞、スプリングカップ、絆カップ、イーハトーブマイル、早池峰賞
服色/胴赤・白のこぎり歯形、そで赤・白一本輪
※2014年8月20日現在

しませんが、盛岡向きのタイプなのでそのアドバンテージをいかせると思います。

重賞を2勝しているそのコンビの話でも、発言内容は慎重。このあたりは地位が人を育てるところもあるのだろう。

けっこう勝てるようになり始めたころは、冷やかしか半分は声をかけられることが多かったんですよ。でも最近はそういうことがなくなりました。やっぱり人に見られているんだなと思いますし、自分としてもまだ1つ1つを積み重ねていくことが重要な時期だと考えているんです。

しかしながら、リーディング上位となれば、周囲はそう思ってくれない。

今の地位を維持したいという気持ちと、攻めていこうという気持ち、両方ありますね。とにかく考えているのは、スキのない競馬をすること。プレッシャーがあるなかでも、それを克服していきたいですね。人気馬に乗ると、馬をいい位置に置きに行くというようなレースをしがちになります。でもそうならないように、気持ちのバランスを意識しています。

そしてもちろん、JBCではいいところを見せたいですね。岩手のピーアールにもなりますし。ただ、やっぱりコツコツというのが自分のスタイルなんですよ。いかに自分がたいしたことない人間なのかということは、デビューしたころに痛いほど思い知らされましたから(笑)

インタビューでの口調は落ち着いていて、とても20代とは思えぬほど。それでも合間の雑談では若者らしい陽気なところも垣間見える。岩手では菅原勲、小林俊彦の2大巨頭からの世代交代が進んでいるが、その争いは熾烈を極めていいる。それでも最終的な順位は、ひとつひとつの勝ち星を積み重ねた結果。山本聡哉騎手はそのことを常に考えている。



2002年、第2回JBC

2002年11月4日。盛岡競馬場で行われた第2回JBCには私も遠征した。確か当日の朝の新幹線で盛岡駅に向かい、駅前から送迎バスに乗ったものの席はすでに埋まっていた、盛岡競馬場までの道中がとても長く感じられた。

同じバスのなかから聞こえてくる話し声で、JBCを機会に盛岡競馬場に初めて足を運んだ人が多いということがよくわかった。全国各地を持ち回りで開催するという理念で始まったJBCが、第2回にして早くも、いわゆる三大都市圏以外の競馬場で行われたことに、大きな意義が感じられたことだった。

その当時のことを、長く岩手競馬を見守ってきた、岩手競馬の情報誌『テシオ』の元編集長、松尾康司さんに振り返ってもらった。

「盛岡競馬場の歴史で、いちばんたくさんのお客さんが入ったという感触がありましたね。それがより確かになったのが、午後1時頃にラジオの交通情報で『新庄で渋滞』と聞いたこと。そこって、競馬場のふもとにある地名。つまり、そこから競馬場までずっと車がつながっていたということなんですよ。そしてJBCが終わったあとも大渋滞。いま振り返っても、あれはすごい熱気だったと思います」

私も入場門を入り、場内にいる人の多さに驚いた。スタンドに入れば、まだ数が多くなかった自動発券機の前はもちろん、2階の有人窓口の前にも常に長蛇の列。当時は岩手競馬独自の電話投票システムが運用されていたが、利用できる人は全体から見ればわずか。盛岡市の中心部にある場外発

売所『UMACCO盛岡大通』ができる前でもあり、馬券を買いだいたい人のほとんどは、山の上にある競馬場に来るしかなかったのだ。

「ただ、その当時は岩手競馬に活気があった頃。1999年にメイセイオペラがフェブラリーステークスを勝ち、続いてトーホウエンペラーが登場しました。その勢いを受けてのJBCでしたからね。でもそれからの12年間、岩手競馬には大変なことが重なりました。2007年には廃止寸前のところまで行って、そこでなんとか踏みとどまったと思ったら、2011年には大地震。どちらも何かのきっかけひとつで、岩手で競馬をやっていないとおかしい状況ですよ。12年の間に2回もどん底を経験した岩手競馬が、よくここまでよみがえったなあ、という感慨はありますね」

『地方競馬の優等生』と呼ばれた岩手競馬が苦境に転落していくスピードは早かった。その要因には、時代の移り変わりという部分も大いにある。それでも岩手は戦前に日本ダービー馬を何頭も送り出すなど、馬産の中心として日本競馬の黎明期を支えた小岩井農場のおひざもと。地元の人々に競馬が深く根付いていることが、その2回の危機を乗り越えられた要因のひとつかもしれない。

同じく12年前のことをよく知る横川典視さんにも聞いてみた。

「あの日はパドックの横から場内放送の解説をしていましたが、パドックを取り囲む人々からの圧力みたいなものを感じましたね。ただ、当時はいつでもお客さんがけっこう入っていたんですよ。メイセイオペラが勝った南部杯のときや、オペラの引退式のときもすごかった。だからJBCでたくさんの方が来たとしても、収容しきれないという思いはありました」

菅原右吉調教師も「昔は年末とか、1日で6億円とか売れていましたからね」と振り返る。「だからなのかなあ、前回のJBCの記憶があんまりないんですわ。なんとなく覚えているのは、期待したほど売れなかったなあと思ったことかな」



写真●いちかんぼ

第2回JBCクラシックはアドマイヤドンが制した

ちなみに2002年11月4日に残した記録は、入場人員14,287名、1日の馬券発売額が21億8448万6800円。それを「あまり売れなかった」と感じたとは、今から考えればとてもぜいたくな話ではある。ただ菅原調教師も「最近では競馬場に人が来なくなったものね。今日はクラスタカップの日なのに、普段とあまり変わらない感じだし」という意識は持っている。

この日の入場人員は2137名。お盆期間中で交流重賞がある日としては、確かにさびしい感がある。この点は松尾さんも「12年前と今とでいちばん違うのは、インターネット投票が浸透したこと」と実感している。売上金額は変わらなくても、その割合が大きく変わっているのだ。

「12年前は、屋台村のなかではなくて、外で営業したらいいですよ」と教えてくれたのは、「元祖・ジャンボ焼き鳥」の職人、喜良彦さん。「11月3日は一体どのくらいお客さんが来るのか、どのくらい食材を用意すればいいのか、さっぱり見当がつかないですわ。去年の金沢は1万2千人も来たんですか。盛岡にもそんなにたくさん来るのかなあ？」

松尾さんも「今の時代にJBCを開催して、競馬場にどれだけの人がどんな感じで集まるのか、まったく予想が付きません。でも楽しみだなとは思っています」と。

期待と不安が錯綜するなかで、刻々と少なくなるカウントダウンの数字。ただ、JBCを前にして岩手競馬の関係者が思っていることは、「これがゴールではなく、3回目のJBCができるように、11月3日を新たな起爆剤に」という、松尾さんの言葉どおりなのだろう。

盛岡競馬場イチオシグルメ —— ジャンボ焼鳥・タバスコ味(400円)

盛岡競馬場の名物のひとつとなっている『ジャンボ焼き鳥』。私も何回も食べているが、「ちょっと食べてみてくださいよ」と店主に薦められた『タバスコ味』は初めて。居酒屋などの焼き鳥とかで、塩かタレ以外の味付けなんて見たことも聞いたこともないですよ？ と半信半疑に思いながら食べてみると、タレがベースとなっている味のなかに、七味唐辛子とは違う刺激が潜んでいる。えっ、これ

意外といけるじゃないの。「調合の割合とか、けっこう研究しましたよ。でも始めた当初は1日に1本も出ない日が多かったですね。そのうちだんだんハマる人が増えてきて、ときどき「辛さ2倍」とかで注文されるお客さんもいます」。盛岡はなぜか『冷麺』が名物だったりするし、辛いものが好きな人が多い地域性なのかも。それにしてもなかなか思いつかないこの味付け。盛岡競馬場でしか体験

できないものかも？



開催日程

☆☆ ナイター開催時の投票開始時間 ☆☆☆
 兵庫(園田)、高知 …………… ナイター開催当日10:00 ~
 ばんえい帯広、ホッカイドウ、南関東 … ナイター開催当日12:00 ~

DG ダートグレード開催日 重賞開催日
 ☆: 薄暮取扱 ★: ナイター取扱

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
ばんえい 帯 広				★	★	★					★	★ 重賞	★					★	★	★					★	★ 重賞	★						ばん えい
ホッカイドウ 門 別	★	★ 重賞					★	★	★ 重賞					★	★ 重賞	★ DG					★ 重賞	★	★					★	★	★		ホカ イドウ	
岩 手 盛岡／水沢				盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					岩手	
金 沢					重賞							重賞	DG												重賞							金沢	
笠 松																重賞																笠松	
名 古 屋																							重賞									名古屋	
兵 庫 園田／姫路	園田	園田	園田						園田	園田	園田	★ 重賞				園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田	兵庫
高 知				★	★							★	★ 重賞					★	★							★	★						高知
佐 賀				重賞							重賞							重賞	重賞							重賞							佐賀
南関DG	大井★ DG	大井★ DG																															南関東

11月	1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日		
ばんえい 帯 広	★	★ 重賞	★					★	★ 重賞	★					★	★	★					★	★ 重賞	★					★	★ 重賞	ばんえい	
ホッカイドウ 門 別				★	★	★ DG					★	★	★ 重賞																		ホッカイドウ	
岩 手 盛岡／水沢	盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	岩 手	
金 沢		重賞		重賞																										重賞	金 沢	
笠 松										重賞																	重賞				笠 松	
名 古 屋																					重賞										名古屋	
兵 庫 園田／姫路				園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田			DG		兵 庫
高 知	★	★						★	★ 重賞						★	★							★	★ 重賞								高 知
佐 賀	重賞							重賞	重賞						重賞							重賞	重賞						重賞		佐 賀	
南関DG																				浦和 DG											南関東	

12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
ばんえい 帯広	★					★	★	★					★	★	★					★	★ 重賞	★						重賞				ばん えい
ホッカイドウ 門別																																ホッカ イドウ
岩手 盛岡/水沢	水沢 重賞					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢	水沢	水沢	岩手
金沢													重賞																			金沢
笠松																														重賞	重賞	笠松
名古屋																								DG								名古屋
兵庫 園田/姫路		園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田				園田	園田	園田	兵庫
高知						★	★						★	★						★	★		★					★ 重賞			★ 重賞	高知
佐賀					重賞															重賞							重賞	重賞				佐賀
南関DG			船橋 DG														川崎★ DG												大井 DG			南関東

※南関東地区で行われるダートグレード競走については、市中銀行会員のみ投票できます。
 ※ホッカイドウ競馬については、楽天銀行会員・住信SBIネット銀行会員・すくかえーの会員は投票できません。
 ※日程は変更となる場合がございますのでご注意ください。

重賞&ダートグレード日程 (2014年10月~12月)

10月	競馬場	実施日	競走名	競走条件	距離	備考	
	大井	1(水)	第48回 東京盃JpnII	DG	3歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	門別	2(木)	第9回 道営スプリント	重賞	3歳以上	1,200	地方全国交流
	大井	2(木)	第11回 レディスプレリユードJpnII	DG	3歳以上牝馬	1,800	中央・地方全国交流
	佐賀	4(土)	第2回 五ヶ瀬川賞	重賞	3歳以上	1,800	
	盛岡	5(日)	第5回 知床賞	重賞	2歳	1,400	北海道地区交流
	金沢	5(日)	第9回 金沢プリンセスカップ	重賞	2歳牝馬	1,500	
	金沢	7(火)	第34回 白山大賞典JpnIII	DG	3歳以上	2,100	中央・地方全国交流
	門別	9(木)	第14回 サンライズカップ	重賞	2歳	1,700	地方全国交流
	園田	10(金)	第54回 姫山菊花賞	重賞	3歳以上	1,700	南関東・北陸・東海・近畿地区交流
	佐賀	11(土)	第2回 耶馬溪賞	重賞	3歳以上	1,400	
	帯広	12(日)	第37回 ナナカマド賞	重賞	2歳	200	
	盛岡	12(日)	第14回 ハーベストカップ	重賞	オープン	芝1,000	
	盛岡	13(祝・月)	第27回 マイルチャンピオンシップ南部杯JpnI	DG	3歳以上	1,600	中央・地方全国交流
	高知	13(祝・月)	第18回 黒潮菊花賞	重賞	3歳	1,900	
	門別	15(水)	第47回 瑞穂賞	重賞	3歳以上	1,800	地方全国交流
	門別	16(木)	第17回 エーデルワイス賞JpnIII	DG	2歳牝馬	1,200	中央・地方全国交流
	笠松	16(木)	第38回 岐阜金賞	重賞	3歳	1,900	北陸・東海・近畿地区交流
	佐賀	18(土)	第2回 玄界灘賞	重賞	3歳以上	2,000	
	佐賀	19(日)	第2回 雷山賞	重賞	3歳以上	2,000	
	盛岡	20(月)	第34回 若駒賞	重賞	2歳	1,600	
	門別	21(火)	第1回 サッポロクラシックカップ	重賞	2歳	1,200	地方全国交流
	名古屋	22(水)	第53回 ゴールドウィング賞	重賞	2歳	1,600	
	盛岡	25(土)	第4回 OROターフスプリント	重賞	オープン	芝1,000	地方全国交流
	帯広	26(日)	第35回 北見記念	重賞	3歳以上	200	
	佐賀	26(日)	第25回 九州ジュニアチャンピオン	重賞	2歳	1,750	
	園田	30(木)	第7回 兵庫若駒賞	重賞	2歳	1,400	
11月	佐賀	1(土)	第1回 英彦山賞	重賞	3歳以上	1,400	
	帯広	2(日)	第39回 ばんえい菊花賞	重賞	3歳	200	
	金沢	2(日)	第62回 北國王冠	重賞	3歳以上	2,600	
	盛岡	3(祝・月)	第14回 JBCクラシックJpnI	DG	3歳以上	2,000	中央・地方全国交流
	盛岡	3(祝・月)	第14回 JBCスプリントJpnI	DG	3歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	盛岡	3(祝・月)	第4回 JBCレディスクラシックJpnI	DG	3歳以上牝馬	1,800	中央・地方全国交流
	盛岡	3(祝・月)	第46回 不來方賞	重賞	3歳	2,000	
	盛岡	3(祝・月)	秋嶺賞	重賞	オープン	芝1,700	
	金沢	4(火)	第16回 兼六園ジュニアカップ	重賞	2歳	1,500	
	門別	6(木)	第41回 北海道2歳優駿JpnIII	DG	2歳	1,800	中央・地方全国交流
	園田	6(木)	第11回 兵庫クイーンカップ	重賞	3歳以上牝馬	1,700	北陸・東海・近畿地区交流
	佐賀	8(土)	第2回 韓国岳賞	重賞	3歳以上	1,800	
	帯広	9(日)	第39回 クインカップ	重賞	4歳牝馬	200	
	高知	9(日)	第10回 黒潮マイルチャンピオンシップ	重賞	3歳以上	1,600	
	佐賀	9(日)	第16回 九州大賞典	重賞	3歳以上	2,500	
	笠松	11(火)	第1回 ラブミーチャン記念	重賞	2歳牝馬	1,600	地方全国交流
	門別	13(木)	第2回 プロッサムカップ	重賞	2歳牝馬	1,200	地方全国交流
	門別	13(木)	第57回 道営記念	重賞	3歳以上	2,000	ファン投票
	佐賀	15(土)	第2回 天山賞	重賞	2歳	1,750	
	水沢	16(日)	第42回 南部駒賞	重賞	2歳	1,600	地方全国交流
	浦和	19(水)	第35回 浦和記念JpnII	DG	3歳以上	2,000	中央・地方全国交流
	名古屋	21(金)	第55回 東海菊花賞	重賞	3歳以上	1,900	南関東・北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	佐賀	22(土)	第2回 周防灘賞	重賞	3歳以上	1,800	
	帯広	23(祝・日)	第5回 ドリームエイジカップ	重賞	4歳以上馬齢選抜	200	
	佐賀	23(祝・日)	第2回 雲仙岳賞	重賞	3歳以上	1,800	
	水沢	24(振・月)	第27回 タービーグランプリ	重賞	3歳	2,000	地方全国交流
	高知	24(振・月)	第3回 土佐秋月賞	重賞	3歳	1,600	
	園田	26(水)	第16回 兵庫ジュニアグランプリJpnII	DG	2歳	1,400	中央・地方全国交流
	笠松	27(木)	第10回 笠松グランプリ	重賞	3歳以上	1,400	地方全国交流
	佐賀	29(土)	第2回 カペラ賞	重賞	2歳	1,400	
	帯広	30(日)	第39回 ばんえいオークス	重賞	3歳牝馬	200	
	金沢	30(日)	第17回 金沢ヤングチャンピオン	重賞	2歳	1,700	
12月	水沢	1(月)	第31回 プリンセスカップ	重賞	2歳牝馬	1,400	地方全国交流
	船橋	3(水)	第60回 クイーン賞JpnIII	DG	3歳以上牝馬	1,800	中央・地方全国交流
	園田	4(木)	第57回 園田金盃	重賞	3歳以上	1,870	
	佐賀	6(土)	第1回 久住山賞	重賞	3歳以上	1,400	
	水沢	7(日)	第37回 北上川大賞典	重賞	オープン	2,500	
	水沢	13(土)	第13回 寒菊賞	重賞	2歳	1,600	
	金沢	14(日)	第50回 中日杯	重賞	3歳以上	2,300	
	川崎	17(水)	第65回 全日本2歳優駿JpnI	DG	2歳	1,600	中央・地方全国交流
	佐賀	20(土)	第2回 師走賞	重賞	3歳以上	1,400	
	帯広	21(日)	第43回 ばんえいダービー	重賞	3歳	200	
	水沢	21(日)	第24回 白嶺賞	重賞	オープン	1,600	
	名古屋	23(祝・火)	第14回 名古屋グランプリJpnII	DG	3歳以上	2,500	中央・地方全国交流
	園田	24(水)	第14回 兵庫ゴールドトロフィー JpnIII	DG	3歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	佐賀	27(土)	第1回 宝満山賞	重賞	3歳以上	1,400	
	帯広	28(日)	第16回 ヤングチャンピオンシップ	重賞	2歳産駒特別選抜	200	
	高知	28(日)	第36回 金の鞍賞	重賞	2歳	1,400	
	佐賀	28(日)	第30回 中島記念	重賞	3歳以上	2,000	ファン投票
	大井	29(月)	第60回 東京大賞典GI	DG	3歳以上	2,000	中央・地方全国交流
	笠松	30(火)	第18回 ライデンリーダー記念	重賞	2歳牝馬	1,600	
	水沢	31(水)	第40回 桐花賞	重賞	オープン	2,000	ファン投票
	笠松	31(水)	第43回 東海ゴールドカップ	重賞	オープン	1,900	
	園田	31(水)	第43回 園田ジュニアカップ	重賞	2歳	1,700	
	高知	31(水)	第45回 高知県知事賞	重賞	3歳以上	2,400	

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。

十二年の時を経た、再びの午年。
ダートの頂点は、盛岡で決す。

JBC

2014 盛岡

11.3 祝月
盛岡競馬場

第14回 JBCクラシック(JpnI)
距離 2000m 1 着賞金 8,000 万円

第14回 JBCスプリント(JpnI)
距離 1200m 1 着賞金 6,000 万円

第4回 JBCレディスクラシック(JpnI)
距離 1800m 1 着賞金 4,100 万円

キャンペーン開催決定！ 詳細は、10月下旬にオッズパークサイトで発表します。

● オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます (ホッカイドウ競馬については、楽天銀行会員・住信SBIネット銀行会員・すぐえーる会員は投票できません)

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式		連勝単式		三連勝		重勝式		投票方式				レース実況	
					枠番 複勝	馬番 複勝	枠番 単勝	馬番 単勝	三連複	三連単	セレクト5	セレクト7	ランダム7	電話投票ARS	インターネット投票	オッズパーク投票		クラシック投票
	賭式番号	1	2	3	4	7	5	6	8	9								
ばんえい帯広	03	10	●	●		●			●	●	●	●	●		●	●	●	0180-991-073(帯広市)
ホッカイドウ門別	06	16	●	●	●	●	●		●	●	●				●		●	0180-991-234(札幌市)
盛岡	11	15																0180-991-335(盛岡開催)(盛岡市) 0180-991-336(水沢開催)(奥州市)
	12	12	●	●		●	●			●	●	●	●			●	●	
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	0180-997-553(金沢市) 076-257-7711
笠松	42	10	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	0180-995-001(笠松町)
名古屋	43	12	●	●	●	●	●			●	●				●	●	●	0180-995-711(名古屋市)
園田	51	12								●	●	●	●			●	●	0180-996-200(園田開催)(尼崎市) 0180-997-200(姫路開催)(姫路市)
	52	12	●	●	●	●	●			●	●	●	●			●	●	
高知	55	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	0180-998-991(高知市)
佐賀	61	12	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	0180-999-211(鳥栖市)

※販売賭式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます (市中銀行会員のみ投票できます)

浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-993-400 (東京03エリア)
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6274-1698 FAX 098-851-0988
受付時間 10:00~17:30(ナイター開催日は21:00まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン
<http://www.oddspark.com/>
携帯
<http://m.oddspark.com/>
スマートフォン
<https://sp.oddspark.com/>

電話投票

0570-011100 (ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555 (ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認ください。お間違えのないようお願いいたします。

※「0180」「0570」で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHSからはご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけない場合がございます。

※「0180」で始まる電話番号は
(固定電話) 音源所在地までの一般ダイヤル通話料
(携帯電話) 全国一律14秒10円(3分130円)
がかかりますのでご注意ください。

※ナビダイヤル(「0570」で始まる電話番号)の通常電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは1分10円、携帯電話からは20秒10円です。